

要件定義書別紙6 STEP8追加機能一覧

※制度は「株式」「制度所管」のいずれかに該当する場合に○を付している。

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ				要件類型				要件 No	要件	関連項目	要件備考					
				省エネ工場	省エネ荷主	省エネ輸送	温対法	フロン法	事業者	省庁	一般	法令改正対応・制	持てこたえり壁種	不具合対応	報告精度向上					と「ザ」の「運」の「事」の「業」の「期」の「満」の「度」の「ユ」の「護」の「化」の「向」の「上」	構高窓化、将来	開発ステップ		
共通（非機能含む）			ログイン	○	○	○	○	○	○						●			STEP8	1-126	■ 認証方式の変更 ・現行の画像選択型認証から、多要素認証などの別の認証方式へ変更する			・ユーザのITリテラシーやIT環境を考慮し、現実的な認証方式を選択すること。	
															●			STEP8	1-127	■ ログイン状態の保持 ・ログイン画面に「ログイン状態を保持する」のチェックボックスを設置し、セッション有効期限を延長する。				
			ログアウト アカウントロック メニュー・画面表示制御	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP6 STEP8	1-080	■ ブラウザの「戻る」ボタンの使用禁止 ・ブラウザの「戻る」ボタンを利用できないするか、または、ブラウザの「戻る」ボタンを利用しようとした場合に警告が表示されるようにする。 ■ メニューのカスタマイズ ・メニューについて、利用者側で追加・削除・並び替えできるようにする。			・利用が想定される全てのブラウザで警告メッセージが表示されるようにすること。	
			ホーム画面	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP6 STEP8	1-071	■ 省庁ユーザーホーム画面におけるログイン状況の表示 ・ログイン件数の推移を日次で取得し、制度所管省庁のホーム画面に表・グラフ等で表示する。 ■ 省庁ユーザーホーム画面における提出状況の表示 ・報告書等(制度別)の提出・処理の状況(提出数・提出率、提出方法・ステータス別の報告書数等)を日次で取得し、制度所管省庁のホーム画面に表・グラフ等で表示するとともにファイルダウンロードできるようにする。 ■ 電子情報処理組織使用届出書の提出状況の表示 ・制度所管省庁ユーザーのホーム画面に、未処理または受理済の電子情報処理組織使用届出書の数が表示され、クリックすると電子情報処理組織使用届出書一覧画面に遷移するようにする。				
															●			STEP5 STEP6 STEP8	1-034 1-035					
															●			STEP5 STEP6 STEP8	1-037					
				○	○	○	○	○	○	○					●			STEP8	1-129	■ ホーム画面のカスタマイズ ・ホーム画面のフォントサイズ・余白を利用者側で調整できるようにする。				
			ヘッダー	○			○	○	○	○					●			STEP8	1-130	■ 事業所選択メニューの改善 ・ホームに戻らずに別事業所の画面へ直接遷移できるようにする。 ・選択中の事業所名を赤字太字で表記するなど目立つようにする。 ・登録事業所が件のみの場合は、事業所の選択操作を不要(自動固定)とする。 ・事業所の表示欄を利用者側で任意に変更できるようにする。 ・事業所を名称や所在地等のキーワードで絞り込みができる検索機能を設ける。				
			メンテナンス中画面 お知らせ画面	○							○					●			STEP8	1-131	■ のお知らせ画面におけるクラス分け評価結果の表示 ・クラス分け評価制度の結果を、事業者がお知らせ画面で直接確認できるようにする。 (現状は、管理機能＞事業者管理とドリルダウンする必要があるためわかりにくい)			
				○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP8	1-132	■ のお知らせ画面から差戻し内容へのリンク ・事業者が差戻しの内容を簡単に閲覧できるよう、EEGストップページの「お知らせ」をクリックして表示される表題をさらにクリックすることにより、差戻しの内容を表示するか、「詳細」画面に遷移できるようにする。 (現状は、省エネ法制度別の場合、報告書の提出＞報告書の一覧＞定期報告書(中长期計画書)の鉛筆マーク▶報告書ステータス履歴「詳細」を見る必要がある)			
			○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP8	1-133	■ のお知らせ情報の強調表示 ・重要度の高いお知らせ情報については、赤色表示やポップアップでの強制表示を行う。				
															●			STEP8	1-134	■ のお知らせ情報のメール通知 ・「登録ユーザーにメール通知する」チェックボックスを設け、お知らせ情報の掲載時にチェックを入れた場合は該当する全ユーザーのアドレス宛にお知らせ内容をメールで一斉送信する。				
		お知らせ登録・変更・削除	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●			STEP6 STEP8	1-073	■ お知らせ表示の改善 ・お知らせの表示について、「全文表示」と「タイトル」行のみ表示を切り替えられるようにする。				
															●			STEP6 STEP8	1-074	■ EEGS停止前の注意喚起、システム改修時の個別通知 ・臨時メンテナンスでEEGSを停止する場合、お知らせ情報で停止時間を事前に周知するだけでなく、停止時間の一定時間前になったらデータ保存を促すポップアップを自動表示して注意喚起する。 ・緊急対応でシステム改修を行った場合、影響を受ける事業者に個別に通知できるようにする。			ポップアップ表示が難しい場合は、現行機能である「お知らせ情報の表示」以外に、ユーザーに注意喚起を促す有効な方法を提案すること。	
			○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP5 STEP6 STEP8	1-042	■ お知らせ情報の一括登録 ・特定の事業者(複数)を対象としたお知らせの掲載を、ファイル取り込みで一括で行えるようにする。				
		報告者種別選択 パスワード変更・再発行	○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP6 STEP8	1-075	■ パスワード変更が必要な理由の表示、事前注意喚起 ・現状はパスワード変更の有効期限(500日)間近の場合、ログインした際に説明な「パスワード変更画面」に遷移する仕様となっている。これを、パスワード変更が必要な理由を明記するなどして、ユーザーが混乱しないようにする。 ・パスワードがリセットされる一定期間(10日等)前にポップアップ等により注意喚起する。	1-074			
															●			STEP6 STEP8	1-076	■ パスワード変更画面における表記の修正 ・パスワード変更画面に記載されている「旧パスワード」の意味がユーザーに分かりづらい。「現在利用しているパスワード」等の文言に修正し、ユーザーに分かりやすくする。				
															●			STEP6 STEP8	1-077	■ パスワード再発行画面におけるメッセージの修正 ・パスワード再発行画面でログインIDを間違えた場合に表示されるメッセージを、「ログインIDが間違っているか、再発行済みです。再発行した場合はメールを確認してください。」から「ログインIDが正しくありません。管理者に連絡してログインIDの確認を行ってください。」に変更する。				
															●			STEP6 STEP8	1-078	■ パスワード再発行時のメールアドレス確認 ・パスワード再発行時に行った場合、登録されているメールアドレスが前任者のものであったり無効となっていたり等の理由により、届かないケースが生じている。 ・そこで、ログインIDに加えてメールアドレスも入力項目とし、システム内でチェックすることで、EEGSに登録されているメールアドレスが一致しているかを、ユーザー自身が把握できるようにする。(一致していない場合は、提出先へ問い合わせよう)				
		権限	○	○	○	○			○						●			STEP8	1-136	■ チェック権限での調査範囲の拡張 ・住所変更により所管局が変わった事業者に関し、チェック権限のアカウントでも、当該事業者の過年度の報告書を閲覧できるようにする。 ・チェック権限のアカウントでも、事業者ユーザー情報を閲覧できるようにする。				
		通知メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●			STEP8	1-137	■ メール送信先アドレスの複数設定 ・EEGSからのメールの送信先を複数設定できるようにする。				
															●			STEP8	1-138	■ メール通知可否の設定 ・操作内容ごとにメール通知の可否をユーザーが設定できるようにする。			特に、出力完了メールの非表示を求める声が多い。	
															●			STEP8	1-139	■ メールの件名の改善 ・件名に、例えば「[EEGS][書類名]の受理通知(対象事業所:○○/ステータス:○○)」のように変数を埋め込む。 ・書類名に関しては、該当制度・報告書種別(定期報告書、中长期計画書等)が分かるようにする。				
		コミュニケーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●			STEP6 STEP8	1-092	■ 省庁から事業者への問合せ機能 ・現在は報告書を差し戻さないメッセージを送れないが、差し戻さずとも問い合わせができるよう、省庁から事業者へのメール送信機能がない省庁・事業者間のチャット機能を設ける。 (特定排出者コードや事業者名の修正を依頼する場合、係数マスタの変更があった際に影響を受ける事業者に連絡する場合等に活用) ・当該機能は制度変更条件(事業所管省庁のいずれも利用できるように)かつ、その内容を関係省庁間で共有できるようにする。 ■ 個別報告書単位で、省庁間連絡用メモ欄を設け、システム内で他省庁と情報共有できるようにする。	4-190		どのように実施する想定か、提案書において提案すること。	
			○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP8	1-140					
		エラー表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●			STEP8	1-141	■ 該当箇所・修正アクションの明示 ・エラーメッセージのテキストにリンクを付与し、クリックすると入力画面の該当箇所へ飛べるようにする。また、該当箇所をハイライト表示する。 ・メッセージの文言は、「○○の項目が空欄です」「○○を修正してください」等、修正方法をわかりやすくす。				
															●			STEP8	1-142	■ メッセージの固定表示 ・エラー一覧を画面上部に固定表示する。(スクロールしても常時表示されるようにする)				
															●			STEP8	1-143	■ アラートの非表示 ・アラートについては、メッセージ横に「確認済」チェックボックスを設置し、チェックを入れたとアラートを非表示にできるようにする。 ・確認のチェック無しに、一時的に非表示にする(折りたたむ)こともよい。				
															●			STEP8	1-144	■ アラートに対する理由の入力 ・重要なアラート(前年度からの乖離チェックなど)については、事業者に確認させたりコメントの入力を求め、その結果を省庁側が参照できるようにする。				
															●			STEP8	1-145	■ エラーがある状態での一時保存 ・エラーが発生している場合でも、データを一時保存できるようにする。				
															●			STEP8	1-146	■ Excelからのコピー＆ペースト対応 ・Excelファイルからのコピー＆ペーストによる入力が想定される項目について、コピー＆ペーストにより発生する半角スペースはチェックの対象から除外する。				
		UI/UX(画面遷移含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●			STEP6 STEP8	1-084	■ 検索機能の初期表示 ・検索機能を有する画面(担当者管理画面等)で、「検索条件を入力する」の入力画面及び検索ボタンが非表示となっており分かりにくい ため、デフォルトで表示されるようにする。			・検索機能を有する全ての画面を対象にするか、一部画面に限定するかは要協議。	
															●			STEP4 STEP5 STEP6 STEP8	1-020	■ 検索結果の保持 ・現在は、検索の際にクリアを押すと、検索結果までクリアされ、リロードされている。これを、検索条件に入力している値のみクリアされるように変更する。 ・検索して一覧を表示した後に個別画面に遷移し、さらに一覧画面に戻った際にも、検索条件を保持し一覧がリセットされないようにする				
															●			STEP8	1-147	■ 「キャンセル」ボタンの表示/非表示の統一 ・入力・編集系のダイアログにおいて、「キャンセル」ボタンの表示/非表示が統一されていないため、UIを統一する。			例：以下のように差異があるケースが多くある。 STSG0203_02 差異事由定型文登録画面 「この内容で登録する」ボタンと「キャンセル」ボタンがある。 RPTG0201_05 電気事業者熱量等入力画面 「この内容で入力する」ボタンしかない。 ※ただし、ダイアログの右上の「×」で閉じられるため、特に支障は出ていない。	
			○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP6 STEP8	1-085	■ 検索結果表示件数の制約、検索機能のUI改善 ・現状、デフォルトの表示件数は10件で、50件以上に拡大できるものの、画面遷移した上で戻ると元の10件に戻ってしまう。画面遷移して戻った場合も、表示件数の変更が維持されるようにする。(これに加えて、デフォルトの表示件数を10件から50件に拡大することも検討する。) ・検索機能に関し、「Enter」キーを押下すれば検索開始されるようにする。(ユーザー情報管理画面、電子情報処理組織使用届出書一覧画面等)			・対象画面・ボタンについては要件確認時に提示する。 ・なお、STEP6の4-057以下での報告書一覧画面については対応済。 STSG0107_報告書(届出書等)提出状況検索画面(フロン法) STSG0101_報告書(届出書等)提出状況検索画面(省エネ・温対法)	
															●			STEP8	1-110	■ 検索結果表示の高速化 ・検索時に年度・提出先等をプルダウンで選択する度に画面がストップするので、検索結果の表示に要する時間を短縮する。				
															●			STEP6 STEP8	1-083	■ チェックボックスの挙動改善 ・2024年度に開発した省エネ法システム機能にない、チェックボックスのチェックを保持するような挙動にする。 ・対象画面は提出状況検索一覧画面を想定している。				
			○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP5 STEP6 STEP8	1-045	■ 事業者情報・事業所情報で入力する項目の説明表示 ・「大臣名」など、事業者情報・事業所情報において入力した内容のうち報告書で使用されるものについては、どこで使用されるのかが分かるようにする(事業者情報・事業所情報画面内に補足説明を記載する／カーソルを合わせたとき吹き出しで表示される 等)。				
															●			STEP6 STEP8	1-087	■ 事業者情報・事業所情報入力の一時的保存 ・事業者情報・事業所情報を入力する際、必須項目が多いため、作業を中断する可能性がある。そこで、必須項目が未入力の状態でも一時的保存の上、ログアウトできるようにする。				
		画面表示	○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP5 STEP6 STEP8	1-052	■ 横スクロールの改善 ・報告書(届出書等)一覧画面は、できる限り横スクロールを不要とし、全てのアイコンが常に表示されるようにする。 ・もし横スクロールが必要になる場合は、スクロールバーが常に表示されるようにする。				
															●			STEP8	1-113	■ ボタンの固定表示 ・定期報告書の入力画面上でスクロールすると「報告書データの更新」や「外部ファイルの取り込み」のボタンが見えなくなるため、ヘッダーに固定表示する。				
			○	○	○	○	○	○	○	○								STEP8	1-114	■ 画面レイアウト崩れの防止 ・各種画面(ホーム画面、アカウント申請一覧画面、事業所一覧画面等)について、一般的なサイズのデスクトップPC・ノートPCの画面で表示した場合に、レイアウトが乱れないようにする。				
															●			STEP8	1-116	■ 現在の操作位置の可視化 ・省庁が問合せにスムーズに対応できるよう、事業者が現在操作している画面が全体のどこなのか、階層表示するなどして分かるようにする。				
															●			STEP8	1-148	■ 検索窓のデフォルト表示の見直し ・検索窓がデフォルトで閉じている場合、検索窓どこにあるか分からないといった問合せが多いため、詳細検索以外の検索窓については開いている状態をデフォルトにする。			【検索窓がデフォルトで非表示になっている画面の例】 事業者画面 ・報告書(届出書等)一覧画面「作成済みの報告書を検索する」 ・管理機能－事業者一覧「事業者検索」 ・事業所一覧－事業所検索 ・担当者管理「担当者検索」	
															●			STEP8	1-149	■ 表頭・表側項目の常時表示 ・画面スクロールが必要な表について、スクロール時も表頭・表側の項目を固定表示する。				
															●			STEP8	1-150	■ 手入力欄の視認性改善 ・手入力するセルは背景色を付ける一方、自動計算されるセル(読取専用)は背景色をグレーにするなど、手入力が必要なセルをわかりやすくする。				
			○	○	○	○	○	○	○	○					●			STEP8	1-151	■ 複数画面の同時表示 ・事業者が昨年度データを見ながら今年度のデータを入力できるよう、同じアカウントで複数のページを開くことができるようにする。				
															●			STEP8	1-152	■ 入力画面の印刷表示 ・報告書の出力画面だけでなく、エネルギー使用量・その他活動量等の入力画面も印刷できるようにする。(入力内容について裏議をとった上で提出する必要がある事業者に対応するため)				

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ				要件類型				開発 ステップ	要件 No	要件	関連項目	要件備考					
				省エネ・工場	省エネ・荷主	省エネ・輸送	温対法	フロ法	事業者	省庁	一般	法定改正・制	持てこたえ・ユ	不具合対応	報告精度向上						とぎやりの事	利便性	運用効率	高度化・将来	
			CSVファイルによるデータ取り込み 移行データ関連 マスタ変更に伴う改修 EEGS使用方法の案内	○			○		○	○					●		STEP8	1-153	■桁数表示の見直し ・現状、小数点以下の多数の桁数が表示されており、不必要であるばかりでなく、数値の誤認の原因となっている。 (例) ー「エネルギー使用量の入力」画面の、「温室効果ガス排出量」 ー「特定第2表1-2」、「指定第2表1-2」の「原油換算L」 ー「特定第3表」の「前年度のエネルギー消費原単位」 ・小数点以下は最大3桁程度（数値全体の有効数字は4桁以上で）の表示にする。		基本的な考え方として、エネルギーの計算では原単位の前年度比が99.09%のように小数点1桁まで計算できれば良く、CO2の計算ではt-CO2は整数でよい。				
				○			○	○	○									STEP8	1-154	■公表対象項目の明示 ・EEGSの入力画面上で、公表対象となる項目が分かるようにする。					
							○	○	○	○	○	○	○	○				●		STEP4 STEP5 STEP6 STEP8	1-027 1-048	■FAQの画面上表示・管理機能構築 ・よある質問（FAQ）をEEGS内に掲載する。その際、見出しを工夫するなどして、該当項目を見つけやすくする。 ・あわせて、制度所管省庁ユーザやEEGS運用保守業者が掲載内容のコンテンツをアップロードしたり、公開日を設定可能とする管理機能を設ける。			
																	●		STEP6 STEP8	1-091	■問い合わせチャットボットの設置 ・現状ヘルプデスクでFAQにのっとって機械的に返答している問合せに関して、テンプレートの回答を返せるようなチャットボットを作成・掲載する。 ・EEGSのFAQ、省エネ・非化石転換法ヘルプデスクのFAQ、SHK制度のFAQ等、さまざまなインプット情報（FAQ・マニュアル等）を横断的に検索できるものとする。		・入電待機者を極力削減するために、チャットボットよりも有効な手段がある場合には、それに代えてもよい。 ・どのように実施するか、提案書において提案すること。		
																	●		STEP8	1-155	■マニュアル該当ページへのリンク ・主要な画面や項目に、マニュアルの該当ページへ遷移できるリンクを設置する。		・定期報告書の作成画面等、重要度の高い画面を対象とする。		
																	●		STEP8	1-156	■前年度からの変更機能の明示 ・EEGS機能の前年度からの変更箇所を一覧化してユーザに分かりやすく提示する。				
							○	○	○	○	○	○					●		STEP6 STEP8	1-094	■マニュアルにおける報告書の削除に係る記載改善 ・操作マニュアル（共通編）の「16. 取り下げ／差戻しからの報告書再提出」の項目に「16.6 報告書の削除」が入っているため、再提出時に誤って削除しやすい。そこで、「報告書の削除」は別の項目として位置づける。				
																	●		STEP6 STEP8	1-095	■権限に係る用語の統一 ・権限設定に関して、マニュアルでは「事業者（事務局）」と記載されているところ、EEGSでは「管理者」と記載されており、分かりづらいため表記を統一する。				
																	●		STEP8	1-119	■再提出事業者向けのマニュアルの追加 ・「報告書作成から提出までの流れ」のページについて、2回目以降は不要な情報を削除した、再提出のためのバージョンを作成する。				
																	●		STEP8	1-157	■事前に準備すべき情報の明示 ・事業者がEEGSにログインする前に事前に準備しておくべき情報（特に数値関連）を整理して提示する。				
							○	○	○	○	○						●		STEP8	1-120	■EEGS利用規約の作成支援・明示 ・制度所管省庁が、EEGSにおける情報の取り扱いや報告内容の公表方法等を記載したEEGSの利用規約を整備するにあたり、その内容検討を支援するとともに、利用規約の開示方法の検討、開示の実装を行う。				
																	●		STEP8	1-158	■問合せ先ヘルプデスクの明確化 ・「EEGSヘルプデスクへのお問い合わせ」経由で問合せを行う場合、事業者がどのヘルプデスク宛に問い合わせているのか認識できていない場合が多いため、メールテンプレートにヘルプデスクの名称を表示する。				
							○					○					●		STEP8	1-122	■非製造業向けマニュアルの整備 ・非製造業の事業者（コンビニエンスストア、ホテル、百貨店、スーパー、ショッピングストア、大学、病院等）に特化したEEGSの入力ガイドを作成する。				
											○	○					●		STEP6 STEP8	1-100	■マニュアルへの事業者ユーザの操作に関する説明の追加（フロ法報告書） ・事業者ユーザによる報告書の入力方法が分からない利用者がいるため、事業者ユーザと事業者ユーザでそれぞれ可能な操作や入力の動向について、操作マニュアルか画面上に分かりやすく記載する。				
				（非機能関連）		プログラムのリファクタリング等	○	○	○	○	○	○	○					●		STEP5 STEP8	1-067	■新たなXML構造定義の検討 ・現在のXML構造定義には、次のような問題が生じている。 ー繰り返してできる項目が固定で記載されている 例）工場特定2表1-1の燃料コストの情報や工場特定4表の年度ごとの情報、荷主付表3貨物自動車の積載量ごとの情報など ー使途不明な報告書外の情報が含まれている 例）工場特定2表の都市ガス明細など ー数値項目の桁数制限が記入要領や表頭に即していない ・XML構造定義のあり方について検討を行った上で、構造定義書の修正を行う。（検討した構造定義に合わせたEEGSの改修までは求めない）		・STEP5では工場の中長期計画書・定期報告書を対象に検討を行った。その他の制度・様式を対象に検討を行う必要があるればSTEP7以降で行う。	
																			●		STEP8	1-102	■保存される操作ログの詳細化 ・誰が何の機能にアクセスしたのか、操作ログがデータベースに登録されるようにする。		
																			●		STEP6 STEP8	1-106	■事業者操作画面の閲覧環境の整備 ・報告書作成中の事業者からの問合せに対応しやすくするため、また、提出された報告書に関する問合せをしやすくするため、省庁ユーザ及び制度ヘルプデスクが事業者の操作画面（エネルギー使用量・その他活動量の入力画面、報告書の入力画面等）を閲覧できるようにする。 ー本番環境で、事業者と同じ操作画面を閲覧できるようにする。 ー画面を閲覧するだけでなく、事業者と同様の操作を実施できるようにする。ただし、結果は保存できないようにする。 ー提出済の報告書についても、入力値を変更して計算結果がどのように変わるかを確認できるようにする。 ーブラウザの再読み込みにより、事業者が操作する最新画面に更新できるようにする。		・STEP3要件No4-019により、現在は、夜間バッチ処理により本番環境から検証環境にDBデータをコピーしており、検証環境で前日時点のデータを参照することは可能となっている。 ・検証環境では、提出前の報告書は編集できるが、提出済みの報告書は編集できず、入力値を変更して計算結果がどのように変わるかを確認することができない。 ・本機能を実現する方法は問わないが、例えば、報告書の内容を画面上で変更できるものの保存する権限は持たない時ユーザを発行すること等が考えられる。
																			●		STEP8	1-159	■検証環境における事業者住所情報の告示 ・検証環境画面やそこからダウンロードできるファイルにおいて、住所情報は記号化せずに表示する。（省庁が提出前に確認・指摘できれば、提出後のチェック作業の効率化になる）		
							○	○	○	○	○								●		STEP8	1-160	■日次のデータ複製処理の効率化 ・日次で実施している検証環境へのデータ複製及びマスク処理が、データ量増加の影響により所要時間が延びており、業務開始時刻に間に合わず運用に支障が生じる懸念があるため、これに対処する。		
							○	○	○	○	○	○							●		STEP8	1-161	■テスト入力環境の提供 ・本番環境同様の機能について、事業者ユーザが入力練習ができるテスト入力用環境を提供する。		
							○	○	○	○	○	○							●		STEP8	1-124	■利用者環境起因によるセッションタイムアウトの回避 ・利用者環境起因で非同期通信が制限されているため、エネルギーの使用量の入力画面にてセッションタイムアウトとなる場合がある。ログイン画面で非同期通信を行うなどして状況を検知し、できるだけセッションタイムアウトにならないようにする。		
																				●		STEP6 STEP8	2-072	■電子情報処理組織使用届一覧画面の検索性向上 ・電子情報処理組織届出（使用、変更、廃止）関係の一覧画面で、宛先（省庁及び各地方局・事務所）で検索したり、ソートをかけられるようにする。（現在は都道府県ごとの検索のみ）	
																●		STEP6 STEP8	2-073	■電子情報処理組織届出に係る参照・編集権限の見直し ・電子情報処理組織届出書（使用、変更、廃止）について、EEGSの集計権限からも参照・編集できるようにする。					
								○				○				●		STEP8	2-104	■（補注）電子情報処理組織使用届出書のメール通知先の拡張 ・電子情報処理組織使用届出書の宛先が大臣名であった場合でも、事業者の所在地から、管轄である地方局に通知を自動送信する。					
		利用申請	電子情報処理組織の届出	○	○	○	○	○	○	○						●		STEP8	2-105	■利用開始申請に係る説明の追加 ・ログイン画面や利用開始案内画面に、電子情報処理組織使用届出書の（追加）提出が必要な場合の説明や、所管省庁・提出先に関する説明を掲載する。					
		ユーザ情報の管理	事業者ユーザの登録（WEB）	○	○		○	○	○	○						●		STEP8	2-088	■異なる事業者における同一メールアドレスの使用許可 ・グループ会社等で複数の事業者を担当している場合があるため、各事業者情報で同一のメールアドレスを登録できるようにする。	2-054				
				○			○	○	○							●		STEP5 STEP6 STEP8	2-054	■同一メールアドレスの使用許可 ・現状は複数のアカウントに同一のメールアドレスを登録することはできない。しかし、同一の担当者が複数の事業所を担当するケースもあることから、1つのメールアドレスに対し、複数事業所に係る登録を可能とする。					

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ		要件類型										開発 ステップ	要件 No	要件	関連項目	要件備考
				省エネ工場	省エネ・荷主	省エネ・輸送	温対法	フロ法	事業者	省庁	一般	法令改正対応	持てこたえ・不具合対応	報告精度向上	事業者の満足度向上	事業者の業務効率化	事業者の業務効率化	事業者の業務効率化	事業者の業務効率化					
		事業者情報の管理	事業者情報の登録(インポート)	○			○	○	○							●				STEP6 STEP8	2-079	■ダウンロードされるCSVファイルの改良 ・事業所ごとの登録機能や報告書提出状況検索機能等によりダウンロードしたCSVファイルにヘッダ部がないため、各項目に何を入力するのかが分からないという。そこでダウンロードされるCSVファイルにヘッダ部が表示されないものについては、すべてヘッダ部を表示する。		
			事業者情報の変更	○	○	○	○	○	○	○						●				STEP6 STEP8	2-084	■事業者ユーザの権限設定の変更 現状、EEGS上事業者の基本情報を初回登録した際に同時に払い出される事務局ユーザについて、権限(「工場」「温対法」「特定事業者」「認定管理統括事業者」等)を変更する機能が存在しない。従って、例えばもともと「工場」として登録した事業者に「温対法」の権限を追加で指定した場合や、特定事業者から認定管理統括事業者へ変更した際にも、事務局ユーザで温対法や認定管理統括事業者の操作ができない状態である。 ・事務局ユーザの権限は事業者の指定状況と連動していることが望ましいため、省庁ユーザが事業者の指定状況を変更した際に事務局ユーザの権限も同様に更新されるように改修する。		
																●				STEP8	2-109	■代表者役職の上置文字数の引き上げ ・代表者の役職の文字数上限を12文字から引き上げる。(例:合同会社の場合は「代表社員 ○○株式会社 職務執行役」との役職名となる)	旧省エネ法システムでは12文字以上登録することができおり、EEGSで変更しようとすると12文字を超えるとの理由で上書きできないため、従前の情報まま更新できない状況となっている。	
				○	○	○	○	○	○							●				STEP8	2-110	■事業者情報編集機能の一元化 ・報告書内に書くべき事業者に関する情報については、マスタデータを自動で表示し、報告書入力画面での入力・編集を不可とする。 ・修正したい場合のため、報告書入力画面に「事業者情報を編集する」等のボタンを設置し、マスタデータの編集画面へ遷移できるようにする。		
				○	○	○	○	○		○				●						STEP8	2-102	■事業者基本情報入力画面に係る不具合解消 ・事業者基本情報入力画面で省庁ユーザが情報を更新すると、空欄に更新されてしまう事象があるため、これを解消する。		空欄に更新されてしまう項目として現在確認できているのは、「エネルギー使用量と密接な関係を持つ値」の「値の数量」、他にないか確認の上、対応すること。
				○			○		○							●				STEP8	2-103	■電気使用量報告形式の選択機能の改善 ・事業者基本情報入力画面の「電気の使用量を報告する形式を選択してください」に關し、電気を使用していない場合でも「月別」が選択されたままになるのでユーザが不安で分りにくい。チェックを外すことができるようにするか、「非該当」等の選択肢を設ける。		
																●				STEP8	2-111	■法定外算定方法・係数不使用の場合の表示制御 ・事業者基本情報入力画面で、「温室効果ガス排出量の算定に際して法定以外の算定方法又は係数を使用しますか?」で「いいえ」を選択している場合、温対法・模式第1の第4表に係数情報を入力できないようにする。		
				○					○							●				STEP8	2-112	■エネルギー管理関係情報に係る作成業務者の登録 ・【管理機能＞事業者基本情報入力画面】において、エネルギー管理企画推進者とは別に、作成業務者(経費等の照会先)の入力欄を設ける。 ・作成業務者の情報を最新化するよう、事業者に促す仕組みを導入する。		
																●				STEP8	2-113	■事業者情報入力画面におけるベンチマーク指標の選択 ・【管理機能＞事業者管理＞事業者基本情報入力】で、ベンチマーク指標が設定された事業を選択する項目において、すべてのベンチマーク指標の選択欄を表示し、事業者に選択させるようにする。		
				○	○	○				○						●				STEP8	2-114	■特定事業者指定時に、異なる指定区分で指定済ステータスのデータが存在する場合のエラーチェックの追加 ・指定しようとしている特定事業者に関して、異なる指定区分で指定済ステータスのデータが存在する場合、同一事業者情報が指定されていることになるためエラーとする処理を追加する。		
																●				STEP8	2-115	■事業者の区分変更に伴う管理権限の自動変更 ・特定事業者→認定管理統括事業者に変更した際、現状は事務局の権限が「特定事業者 管理者」のまま変更不可となっている。これを、自動で事務局ユーザに「認定管理統括事業者 管理者」の権限を付与するなど、変更可能とする。		
																●				STEP8	2-116	■事業者の区分変更に伴うエラーの回避 ・認定管理統括事業者→特定事業者に区分変更した際、事業者側で区分変更前「認定表」を保存している場合、現状は区分変更後に編集不可の「認定表」が残ってしまう、提出時の入力チェックで認定表起因のエラーが発生してしまう。これを、区分変更時にユーザが検知できるようにするなど、支障が出ないようにする。		
	省庁ユーザ関連	ユーザID発行	ユーザID・パスワード発行 ログインの発行 通知の出力 パスワード発行 通知の出力																					
		ユーザ情報の変更	ユーザ情報の変更	○	○					○										STEP5 STEP8	2-071	■経産局ユーザの権限変更 ・経産局の全てのユーザにおいて、アクセスキーの再発行を実施できるようにする。	過去検討時には、事業所管省庁でアクセスキーを発行できるようにする方向で検討を進めていた。	
	パスワード変更 ユーザID無効化		パスワード変更 ユーザID無効化 ユーザID無効化の解除																					
		ユーザID削除 ユーザ情報の閲覧	ユーザID削除 ユーザ情報一覧の表示	○	○	○	○	○	○	○						●				STEP6 STEP8	2-086	■事業者のログインID(PW)の一括出力 ・事業者で出力できるようにする。(事業者からの問合せに対し検証画面に入る際に事業者側のログインIDが必要であり、一覧で持っておいた方が効率的であるため。)		
																				STEP8	2-117	■ユーザ一覧画面における権限の可視化 ・「ユーザ一覧画面上で「事務局ユーザ」か否かを示すフラグ(アイコン等)を表示する。		
																				STEP8	2-118	■ユーザのデフォルト表示 ・「ユーザ管理画面」に遷移した際、検索しなくても、全ユーザを一覧でデフォルト表示する。		
		ユーザ情報の詳細		○	○	○	○	○	○	○						●				STEP8	2-119	■ユーザ情報の一括更新 ・「ユーザ一覧画面」にチェックボックスを設け、選択した複数ユーザの権限や担当事業所等の情報をまとめて変更できるようにする。		
		ユーザ情報の検索														●				STEP8	2-120	■ユーザの権限変更 ・事業者ユーザ・事業所ユーザを事務局ユーザに移行できるようにする。		
報告書等の登録・提出	登録方法の選択	登録方法の選択	登録方法の選択	○	○	○			○							●				STEP8	3-511	■様式の誤選択防止 ・提出実績がほとんどない申請書・届出書については、様式を選択する際に分かりやすくしたり、注意喚起を表示するなど、事業者が誤って選択しにくいようにする。 (例) ー省エネ法認定管理統括荷主に係る認定申請書 ー省エネ法荷主連携省エネルギー計画認定申請書 ー省エネ法荷主連携省エネルギー計画変更申請書 ー省エネ法荷主連携省エネルギー計画の軽微な変更の届出書		
				○	○	○	○	○	○	○						●				STEP8	3-512	■事業者名称の誤記の解消 ・EEGSで報告書や各種申請・届出書を提出する際、事業者名称の揺らぎが発生しないようにする。 ・事業者が略号変更を行った際の手続き(電子情報処理組織使用変更届出書の提出要否、EEGS上の事業者情報の変更手続等)をルール化した上で、事業者及び省庁ユーザに案内する。	同一事業者にも関わらず、制度間で事業者名称が一致していない場合がある。また、EEGSに登録されている事業者名称と各種届出書に記載された事業者名称が一致していない場合もある。	
	エネルギー使用量・その他活動量の入力・編集	エネルギー使用量・その他活動量の入力	Web入力	○	○	○	○		○							●				STEP8	3-368	■エネルギー使用量・その他活動量の入力画面におけるボタン表示の改善 ・エネルギー使用量入力画面内の「前年度のエネルギーの種類を取込み」「ファイルを選択」「ファイルから取込」「ダウンロード」のボタンが近接しており、機能の違いを判別しにくい。説明を追加したり、配置を工夫するなどして、各ボタンの意味が直感的に分かるようにする。(活動量入力画面も同様)		
																●				STEP8	3-369	■エネルギー使用量・その他活動量の入力画面における保存状況の見える化 ・エネルギー使用量及びその他活動量の入力画面において入力内容に不備がある場合、保存ボタンを押下した際、または、別画面に遷移しようとした際に、「入力内容に不備あり保存できない旨のメッセージ」を表示する。(特に荷主で「前年度輸送区分の取込み」で取り込み後に、その状況で登録できると誤解する事業者が多い。)		
																●				STEP6 STEP8	3-265	■補助画面における係数の単位の表示 ・エネルギー使用量の入力補助画面において、係数の単位が記載されていない項目について、単位を表示する。 (例)自家発電補助画面の「販売した削減エネルギー量の入力画面における排出係数行		
																●				STEP6 STEP8	3-266	■電気事業者メニューの検索機能の柔軟化 ・電気事業者メニューの絞り込み検索で、半角全角が一致していなくても検索結果に表示されるようにする。		
																●				STEP8	3-371	■小売電気事業者の買電メニューから電気使用量入力時の注意喚起の案内 ・再エネプレミアム電気を購入している場合の電気使用量の入力方法について、「電気の一部を再エネプレミアムとする契約を結んでいる場合、メニューを分けて入力してください」という旨の説明を追加する。		
																●				STEP8	3-372	■電力メニューにおける「残差」の選択に係る入力ミスの防止 ・電力メニューのうち、「残差」が最も一般的なメニューであることが分かるように、選択肢の中で最上段に表示する、太文字・赤色にする等目立つようにするか、もしくは残差が最も一般的なメニューである旨の説明を追加する。		
																●				STEP8	3-513	■買電メニューに係る変更禁止 ・電気事業者からの買電メニューの選択において、デフォルト値を変更できないようにする。		
																●				STEP8	3-378	■都市ガス供給業者等入力画面の単位表記の修正 ・「都市ガス供給業者等入力画面」の換算係数の画面上の単位の表記を[GJ/千Nm ³]⇒[GJ/千Nm ³]に修正する。		
																●				STEP8	3-379	■画面上に表示する排出係数の表示ルール見直し ・「新方式のCO2排出係数」について、内部計算には小数点第2位以下も使用されるが、画面上には四捨五入した値が表示されている。利用者が換算を行う際、画面上の数値を使用すると正しく換算できないため、実際に計算に使用されている係数値を画面上に表示する。	他の係数でも同様の問題が生じていないか確認した上で対応すること。	
																●				STEP8	3-380	■温室効果ガス排出量算定結果の表示改善 ・エネルギー使用量入力画面における「温室効果ガス排出量の算定値」について、桁区切り有りの整数表示にする。	1-112 3-423 9-438 3-442 3-450	
									●											STEP6 STEP8	3-298	■非化石電源二酸化炭素削減相当量が電気のCO2排出量を超えている場合の扱いの変更 ・「非化石電源二酸化炭素削減相当量」が「電気事業者からの小売電力の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量」を超える場合、現在はエラーを表示して非化石証書の量の修正を求めているが、エラーとするのではなく、「電気事業者から小売供給された電気の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量」を「非化石電源二酸化炭素削減相当量」と見なして調整後排出量の算定を行う。		
																●				STEP8	3-516	■前年度の補助画面入力内容の取り込み ・エネルギー使用量・その他活動量の入力画面において、「前年度のエネルギーの種類を取込み」「前年度の活動量の種類を取込み」を行う際、補助画面で入力した内容も取り込めるようにする。または、前年度の補助画面の入力内容を確認できるようにする。		
				○	○	○	○		○	○						●				STEP6 STEP8	3-293	■エネルギー使用量・原単位等自動算出項目に係る計算過程の見える化 ・エネルギー使用量や原単位等、システムで自動計算される項目について、どのように計算されてその結果になったのか計算過程が分かるようにする。(計算結果にカーソルを合わせると、換算係数を含む計算式を自動表示する、等)	・STEP4要件3-142と関連	
																●				STEP6 STEP8	3-294	■排出量計算過程の見える化 ・「電気需要最適化係数を考慮した電気使用量の入力(月別)」で使用する「支援ツール」をどこでダウンロードできるか分りにくいため、画面上の表記「※ R8年度版Excel支援ツールのダウンロードはこちら」の「こちら」の表示を大きくしたり文字の色を変更するなど、利用者にとってわかりやすくする。	・エネルギー種類及び活動項目ごとの温室効果ガス排出量の算定結果はSTEP3(3-143-3-192)で、調整後排出量の内訳はSTEP3(3-076)でそれぞれ開発済み。	
																●				STEP8	3-382	■前年度の温室効果ガス排出量計算過程の出力 ・「前年度の温室効果ガス排出量の計算過程を確認できるよう、過年度に入力したエネルギー使用量・その他活動量及び排出量の計算に用いている排出係数を表示できるようにする。」		
				○					○							●				STEP8	3-517	■「電気算出支援ツール」のリンクの視認性改善 ・電気需要最適化係数を踏まえた電気使用量の入力(月別)で使用する「支援ツール」をどこでダウンロードできるか分りにくいため、画面上の表記「※ R8年度版Excel支援ツールのダウンロードはこちら」の「こちら」の表示を大きくしたり文字の色を変更するなど、利用者にとってわかりやすくする。		
																●				STEP8	3-518	■「電気算出支援ツール」の単位に係る注意喚起 ・「電気需要最適化係数を考慮した電気算出支援ツール」への入力が、報告書と異なり「kWh/単位」であるため、誤入力が散見される。入力シートに赤字等で注意文を表示する。(現状は入力シート内に「単位: kWh」と記載があるのみ)		
																●				STEP8	3-519	■月別電気使用量の入力欄に係るファイルからのコピー許容 ・電気使用量の月別入力欄について、Excel等からコピーした複数セルのデータを一括ペーストできるようにする。		
																●				STEP8	3-520	■電気需要最適化係数を考慮した電気使用量算出支援ツールの集計値のEEGSへの取り込み ・現状、事業所が位置するエリアが1か所の場合も、Excel支援ツールからの取込を可能とする。		
																●				STEP8	3-521	■電気需要最適化を踏まえた電気使用量の入力補助拡張 ・電気需要最適化を踏まえた電気使用量について、時間帯別入力や、エリアが複数ある場合の月別入力についても、EEGSで入力できるようにする。		
																●				STEP8	3-522	■エネルギー使用量入力画面における電力使用量の見える化 ・「特定・指定第2表1-1 電気事業者からの買電」と「2 電気使用量の合計と不一致になるエラーが発生するため、エネルギー使用量入力画面に以下をできるようにする。 ①エネルギー使用量入力画面において、入力した電気使用量の合計値(化石電気+非化石電気)を表示する。 ②月別の電力量一覧に年間の合計値を表示する。(計算用Excelファイルには年間合計値がある)		
																●				STEP8	3-523	■月別電気使用量入力に係るエリア名称改善 ・「電気需要最適化を踏まえた電気使用量の入力(月別)」の「事業所が位置するエリア」の選択肢について、地方ブロック名だけでなく、該当する都道府県もあわせて表示する。		
				○					○	○						●				STEP8	3-524	■月別電気使用量の年度合計値表示 ・特定・第2表1-2の電気需要最適化を踏まえた電気使用量の入力(月別)に關し、月別電気使用量の入力画面において年度合計値を表示するとともに、エネルギー使用・販売量入力画面の電気入力項目においても月別電気使用量の年度合計値を表示することで、事業者が誤入力を検知しやすいようにする。(表中で難しければ、入力ボタン(赤ボタン)の横等でも構わない。) また、省庁ユーザが確認しやすいよう、省庁ユーザのEEGS画面上及び出力ファイル上でも特定・第2表1-2の月別電気使用量の年度合計値を表示する。 ・電気事業者別に入力した電気使用量の年度値と、月別/時間帯別電気使用量の年度合計値の不一致エラーが、報告書入力画面でしか確認できないため、エネルギー使用量入力画面で確認できるようにする。		
							○		○							●				STEP8	3-276	■「活動分野区分」の名称表記の統一 ・その他活動量の入力で選択する活動項目の名称の表記をEEGSとSHKマニュアルで統一するか、対応関係を分かりやすく示す。(活動分野区分「工業プロセス」に該当する項目等)		
																●				STEP8	3-525	■「燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用」の活動量の入力漏れ防止 ・「燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用」の活動量は、他のCH4・N2Oに係る活動量とは異なり、エネルギー使用量入力画面の補助画面から入力するため、入力漏れにつながっているおそれがある。ユーザの入力漏れを防ぐべく、適切に誘導する。		
																●				STEP8	3-526	■CH4・N2Oの「産業廃棄物の焼却」の排出量算定においては、廃タイヤは廃プラスチック類に含めて算定すること(マニュアル P.1159、11-212)としているので、「その他の活動量の入力」画面における「廃プラスチック類(廃タイヤを除く)」から「(廃タイヤを除く)」を削除。	・報告に間に合わせるため2027年6月頃のリリースを想定	

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ				要件										関連項目	要件備考
				省エネ工場	省エネ荷主	省エネ輸送	温対法	フロン法	事業者	省庁	一般	度法改正 正誤・制	持テセ 対イキ ・ユ 基リ 盤機	不 具 合 対 応	要件類型 報告精度 向上	とザ「利」の 運業も取用 効果も削減ユ 基リ「化」	高 速 化 ・ 特 長	開発 ステップ	要件 No				
				○			○		○					●			STEP6 STEP8	3-284	■「省」「温」マーク表示の適正化 ・エネルギー使用量入力画面で、「エネルギーの種類」の1行目に「省」「温」マークが並んでいるが、両方のマークが記載された行に入力した数値は温対法の報告書には反映されず、「予燃焼炉・機関」を押下して「温」マークのみ記載された行に入力した数値が温対法の報告書に反映される。そこで、前者については「省」マークのみ表示するように変更する。				
														●			STEP8	3-527	■エネルギー使用量入力画面における「その他燃料」等の表示適正化 ・「化石燃料」と「非化石燃料」の「その他」の使用量、あるいはFCGコーク、潤滑油の使用量を入力しても、「エネルギー使用・販売量の入力」の一覧画面には使用量が表示されない。なお、特定第2表1-1又は指定第2表1-1には表示されている。これらについても、それ以外の燃料と同じ扱いに修正する。				
														●			STEP8	3-529	■エネルギー使用量入力画面における電気事業者からの買電に係る温室効果ガス排出量の表示の改善 ・「電気事業者からの買電」で電気事業者メニュー、使用量、非化石証書の使用状況%を入力すると、化石電気使用量、非化石電気使用量が表示されるが、温室効果ガス排出量もそれぞれの行に表示される。温室効果ガスは非化石電気からは排出されないの、化石電気の行のみにまとめて表示するよう修正する。				
														●			STEP8	3-530	■自家発電における「販売した副生エネルギー」の記載欄の削除 ・電気＞自家発電における「販売した副生エネルギー」の記載欄を削除する。	入力不可とすることまではSTEP7で実装済			
															●		STEP8	3-531	■自家発電入力画面におけるエラーメッセージの見直し ・自家発電入力画面で入力した値に半角スペースが含まれる場合に表示されるエラーメッセージが「システムエラーが発生しました。」とエラーの解消方法が分かりづらいため、文言を見直す。	半角英字や全角スペースが含まれた場合は以下のメッセージが表示される為、類似のメッセージにするのが適切。 「当該事業所の販売した副生エネルギー（電気）の量 化石電気」は半角数値で入力してください。」			
															●		STEP8	3-532	■自家発電補助画面において入力できるエネルギー種類の見直し ・燃料行から遷移した自家発電補助画面において、FCGコークやその他の使用量欄が非活性となっているため、入力可能にする。				
															●		STEP8	3-533	■自営線を用いて他者から供給を受けている電気に関する入力方法の見直し ・エネルギー使用量の入力（上記以外の買電入力、その他）では、現状、1つの項目に対して複数の種別や買電量を設定することができないため、1つの自営線で化石電気と非化石電気の両方の供給を受けている場合、2つの項目に分けて記載させるを得ない状況となっている。これを、1つの項目にまとめて入力・表示できるようにする。				
														●			STEP8	3-383	■自己託送に係る入力欄の追加 ・エネルギー使用量入力画面における「他事業所からの供給（自営線）」に関して、自営線に加えて自己託送もありうることから、表記を「他事業所からの供給（自営線又は自己託送）」と改めるか、「他事業所からの供給（自己託送）」の入力欄を別途設ける。				
															●		STEP8	3-535	■電気量の「他事業所からの供給」に係る計算方法の見直し ・電気量の「他事業所からの供給」を使用した場合、以下のような問題があるので、「改善案」の通り計算方法を見直す。 【想定モデル】 A工場：都市ガスで自家発電し、一部をB支店に送電。（A工場の原単位分母は生産量） B支店：A工場からの送電を使用。（B支店の原単位分母は延床面積） 【EEGS動作】 A工場：指定第2表に、都市ガス全使用量（a kL）（B支店への送電分の都市ガスも含む）を計上。 B支店：指定第2表に、A工場からの受電分（b kL）を計上。 事業者：特定第2表に、a kLを計上。 特定第3表では、B支店の事業分類の使用量がa kLではなくゼロkLと表示され、B支店の原単位も表示されない。（指定第2表の使用量、指定第5表の原単位と異なる。） 【問題点】 ・特定第3表のB支店の事業分類で、使用量があるにもかかわらずゼロと表示され、原単位が非表示。 ・エネルギー計算の挙動がCO2結果と異なる。（A工場について、B工場への送電分は、エネルギー計算では引かれるがCO2計算では引かれない） 【改善案】 A工場について、使用量を実際の使用実態にあわせ、送電分の都市ガス使用量を控除する。（CO2排出量はそのようになっている。）				
															●		STEP8	3-386	■電気を販売している場合の発電のためのエネルギー種類の見直し ・温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルp.53～54「3.1.6 他人に供給した電気又は熱に伴う排出量の控除について」では、電気を販売している場合の排出係数の計算式では、発電のための蒸気の使用は想定されていない。 しかし、「販売電気量等の入力」画面では産業用蒸気及びその他の熱のエネルギー使用量も入力可能となっており、排出係数の計算にもそれが考慮される仕様となっている。 ・両者の整合がとれるよう、マニュアルの記載を修正するか、マニュアルに合わせてEEGSの画面を改修する。				
														●			STEP8	3-503	■他者に供給した電気・熱に関する入力項目の改善 ・他者に供給した電気・熱に関する情報を入力する画面にて、電気・熱を発生させるために使用したエネルギーの細かい内訳を把握していない場合でも、以下の値を入力すれば控除量を算定できるようにする。 一電気・熱を発生させるために使用したエネルギーの熱量GJ換算値合計 一排出量報告書区分（廃棄物以外の燃料／廃棄物燃料／他人から供給された電気・熱）ごとの、電気・熱を発生させるために使用したエネルギーの熱量GJ換算値				
															●		STEP8	3-672	■都市ガス・熱供給入力画面における注記の追加 ①「都市ガス供給業者等入力画面」における注記の掲載 ・係数公表前の時点では、入力画面に目立つように、以下について明記する。 一公表は6月末頃を予定していること。 一公表前に報告する場合は、公表の有無や「実測等」に基づく排出係数で適切と認められるもの（クレジット等の利用なし）について、都市ガス事業者に確認すること。 一リストにある排出係数は参考値であり、記入要領に記載のとおり、「都市ガス供給事業者」に確認できない場合」に利用可能であること。 ②「熱供給業者等入力画面」における注記の掲載 ・係数公表前の時点では、入力画面に目立つように、以下について明記する。 一公表は6月末頃を予定していること。 一排出係数の選択方法は、原則として以下のとおりであること。 （1）国が公表する事業者別（メニュー別）排出係数 （2）（1）が公表されない場合は、（1）の係数に相当する係数で、実測等に基づく排出係数で適切と認められるもの				
															●		STEP8	3-376	■都市ガス使用量に係る不具合解消 ・都市ガス供給業者等入力画面で「販売した副生エネルギー量」を空欄で保存した場合、特定表には「0」と表示されるが、指定表は空欄で表示される状況になっているが、指定表も特定表と同様に「0」と表示されるようにする。				
															●		STEP8	3-514	■都市ガスメニューの表示順改善 ・都市ガス供給業者等入力画面における都市ガスメニューのプルダウンについて、「残差」メニューを先頭に配置する。				
															●		STEP8	3-388	■非化石エネルギーに係る「販売した副生エネルギー量」の入力禁止 ・太陽光、風力、地熱、水力、その他（非燃料由来の非化石電気）の「販売した副生エネルギー量」は報告対象外であるが、EEGSの「エネルギー使用量の入力」では入力できる状態になっているので修正する。 ・プログラム修正前までは、入力画面に「販売量は入力不要」等の表示を示し、注意喚起する。 ・エネルギーHPに掲載されている様式第9において、特定第2表1-1、指定第2表1-1は太陽光と風力のみ「販売した副生エネルギー量」に記入不要の斜線があるが、地熱、水力、その他（非燃料由来の非化石）には斜線がなく、また、記入要領には全てに斜線がない状況。これらの修正方針を確定した上で、EEGSの画面および出力ファイルを修正する。				
															●		STEP8	3-536	■非化石「その他燃料」の内容表示 ・エネルギー使用・販売量の入力画面において、非化石燃料の使用の「その他の燃料」の内容を表中に表示する。				
															●		STEP8	3-392	■販売電気量等・販売熱量等入力画面における未入力エラー表示 ・販売電気量等・販売熱量等の入力画面で、当該事業所の販売熱量や、うち廃熱由来のものに未入力があった場合、エラーメッセージを表示する。				
				○	○		○		○						●		STEP8	3-395	■独自係数・実測値の入力内容の消去可能化 ・エネルギー使用量及びその他活動量の入力画面における独自係数・実測値の入力欄について、現在は一度入力して保存すると入力内容を消すことができます。「削除」ボタンで当該エネルギー種類・活動項目を削除・再追加が必要がある仕様になっている。そこで、独自係数・実測値の入力事項のみ消すことができるようにする。				
															●		STEP8	3-396	■報告対象外の場合の独自係数・実測排出量の入力制御 ・現状、独自係数・実測排出量を入力した場合、報告対象外であっても報告書に排出量が表示されてしまう。報告対象外の場合は報告書に排出量を表示しないようにするか、報告対象外の場合はそもそも独自係数・実測排出量を入力しないよう事業者に促すフローを追加する。				
															●		STEP8	3-537	■【省エネ法第3条・輸送】都市ガス係数の自動入力 ・現在、都市ガスの熱量換算係数・排出係数が手動入力になっているところ、工場制度と同様に、メニューを選択すると自動で係数が入力されるようにする。				
		ファイルアップロード		○	○	○	○		○						●		STEP8	3-399	■ファイルアップロード時の画面レイアウト改善 ・エネルギー使用量入力画面にファイルアップロードした際、アップロードしたファイル名が画面に表示される仕様になっているが、ファイル名が長い場合、ボタンの表示位置が変わるなど、画面レイアウトが崩れてしまう。そこで、ファイル名が長い場合でも、画面レイアウトが崩れないようにする。				
															●		STEP8	3-400	■ファイルアップロード時のエラーメッセージの改善 ・エネルギー使用量一括ファイル取込・出力画面でファイルをアップロードした際、zipファイル内のフォルダ構成に誤りがある場合に以下のエラーメッセージが表示され、フォルダ構成に誤りがあることが分からないため、これを改善する。 エラーメッセージ：「ファイル名に誤りがあります。命名規則：energy-usage（事業所ID）.xlsxに従って、ファイル名を修正してください。」				
				○					○						●		STEP8	3-538	■事業者権限での事業所IDの参照可能化 ・「エネルギー使用量一括ファイル取込・出力」「その他活動量一括ファイル取込」機能は事業者権限で使用できるが、ファイル内に記入する事業所IDは管理者権限で事業所検索画面に行かないと確認できないため、事業者権限で事業所IDを確認できるようにする				
															●		STEP8	3-539	■電気・熱使用量のファイル取り込み ・エネルギー使用量の取り込みファイルについて、化石燃料および非化石燃料だけでなく、電気・熱も入力できるようにする。または、電気・熱に関して、別途専用のファイルフォーマットを提供する。				
		エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力		○					○					●			STEP8	3-401	■エラーメッセージ表示の不具合解消 ・エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力画面で「値の数量」に半角数字以外を入力した際、同じエラー文が2行表示されてしまう不具合を解消する。				
															●		STEP8	3-540	■報告対象外事業所に係る不具合解消 ・現状、「報告対象外」とした事業所も密接な関係を持つ値の入力画面に表示され、報告対象外にもかかわらず空欄があると保存ができない。 ・該当事業所自体を非表示にするか、報告対象外の事業所であると表示しつつ値の入力は不要とする。	適当な名称・単位・数量を入力すれば保存は可能で、報告書にも反映されないため、現在はそのような運用で対処している状況。			
															●		STEP8	3-541	■権限設定の不整合に伴う不具合の解消 ・事業者情報では省エネ法（工場）に権限がないが、担当者情報において「省エネ法（工場等）特定事業者（管理者）」の権限を付与していた場合、「エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力」画面が表示され、クリックするとシステムエラーとなる不具合を解消する。	STEP4以前からの既存不具合			
															●		STEP8	3-542	■原単位分母変更理由の入力 ・エネルギーと密接な関係を持つ値の変更時に使用する提出フォームを定型化する。				
認証排出削減量登録		認証排出削減量登録	○				○		○						●		STEP6 STEP8	3-284	■事業所ユーザによる認証排出削減量等の入力 ・事業所ユーザが、認証排出削減量や証書等による非化石エネルギーの使用量を入力できるようにする。				
															●		STEP8	3-543	■非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る表記改善 ・「認証排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量の入力」>「排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量」>「削減量・証書等の種別」の入力欄において、「非化石電源二酸化炭素削減相当量」の横に「非化石証書等」の表記を追加する。（非化石電源二酸化炭素削減相当量が非化石証書につながることを理解しておらず、非化石証書を「その他」で入力するケースが多いため）				
															●		STEP8	3-544	■無効化・移転の切り替えに伴う非化石電気量の正負表示の改善 ・認証排出削減量登録画面で、チェック、国内クレジット、オフセットクレジット、グリーンエネルギー削減相当量を入力する際、無効化と移転の切り替えボタンをクリックすると、CO2無効化量と移転量の正負表示は自動で切り替わるが、非化石電気の量kWhは正負表示を手入力する必要があるため、失念しやすい。 ・そこで、非化石電気の量を入力後に、切り替えボタンをクリックすると、非化石電気の量kWhも正負表示が自動で切り替わるように修正する。				
															●		STEP8	3-545	■「移転」に係る項目名称表示の適正化 ・「認証排出削減量登録画面で、「非化石電源二酸化炭素削減相当量」あるいは「その他」を選択し、「移転」により非化石エネルギーの量kWhをマイナスにしても、表の表示は「無効化」で固定となっているので「移転」に修正する。				
															●		STEP8	3-546	■認証排出削減量登録画面における非化石エネルギー量に係るコメントの修正 ・「認証排出削減量登録画面に「非化石エネルギーの量は正の値、移転量は負の値で表示されます」とのコメントがあるが、「表示されます」は自動で表示されると誤解しやすいため、「非化石エネルギーの量（kWhまたはGJ）」は無効化量は正の値、移転量は負の値で手入力してください。」と修正する。				
															●		STEP8	3-547	■認証排出削減量登録画面における不具合解消 ・国内クレジット、オフセット・クレジット、クレジットの場合、「方法論の種別」に「その他」を選択すると、「非化石エネルギーの量」に値を手入力できない状態になる。これが不具合であれば修正し、そうでない場合は「その他」は不要なので削除する。				
															●		STEP8	3-548	■再エネ・省エネ分野の排出削減相当量の扱いに係る説明の明示 ・国内認証排出削減量の方法論で「再エネ分野」の排出削減相当量は、特定13表1の「他人から供給された電気及び熱の使用に伴う二酸化炭素」で控除（無効化）、加算（移転）され、特定13表3の調整後温室効果ガス排出量も同様に対象となる。 一方、「省エネ分野」は特定13表1の「他人から供給された電気及び熱の使用に伴う二酸化炭素」は対象外であるが、調整後温室効果ガス排出量は温対法マニュアルでも方法論に制限はないとあり対象である。 上記の内容は省エネ法記入要領及びEEGS入力画面に記載がないため、対象の有無について説明を表示する。				
															●		STEP8	3-549	■モーダールシフト系クレジット対応 ・特定輸送事業者に、「モーダールシフト系クレジットに係る国内認証排出削減量」及びその分を基礎排出量からを控除した「調整後排出量」の報告を求める。 ・具体的には、モーダールシフト系クレジットに係る国内認証排出削減量の入力欄及び調整後排出量の入力欄を追加する。 ・クレジット登録簿システムからの自動連携機能の改修は想定しない。	本件については令和9年度に制度側での取扱いを整理する予定。			

大分類			中分類			小分類			機能名			制度										ユーザ										要件										要件No	要件	関連項目	要件備考																																																																																																																																																																																																				
												省エネ工場	省エネ荷主	省エネ輸送	温対法	フロ法	事業者	省庁	一般	度法令改正・制	持テセ対イキ・ユ基リ盤機	不具合対応	報告精度向上	とザ「利の」運用の事「工省用効満業付数序効足者」削減「化」向上「減」	構築高度化・将来	開発ステップ																																																																																																																																																																																																																							
報告書等の作成・編集・削除	制度共通	制度共通		○	○	○	○	○	○					●	STEP6 STEP8	3-286	■不具合対応の報告書等への自動反映 報告内容に関わるEEGSの不具合対応があった場合には、事業者が報告書等を保存し直したり、更新ボタンを押下したりしなくても、システムの改修内容が報告書等に自動反映されるようにする。 ・データを自動更新した際には、ポップアップの表示、メールの自動送信等により、データが更新されたことが事業者に分かるようにする。 ※ただし、検討の結果、システム改修内容の報告書への自動反映が難しい場合には、不具合対応後に報告書データの保存ないし更新を行なったか確認できるように、事後に保存・更新を行った旨の情報を提供しておく。 ■「保存」「更新」ボタンの不要化 ・「報告書データの更新」及び「入力内容を保存」のボタンの押し忘れのため、「データを修正したがエラーが解消されない」との事象が多発している。 ・そこで、「定期報告書の入力」画面を開くと、自動的にデータ更新・入力保存が実行されるようにする。それが難しい場合は、「定期報告書の入力」画面を開くと、データ更新・入力保存が必要である旨のメッセージを表示する。			STEP6から先送り																																																																																																																																																																																																																													
																●	STEP8	3-550	■「保存」「更新」ボタンの不要化 ・「報告書データの更新」及び「入力内容を保存」のボタンの押し忘れのため、「データを修正したがエラーが解消されない」との事象が多発している。 ・そこで、「定期報告書の入力」画面を開くと、自動的にデータ更新・入力保存が実行されるようにする。それが難しい場合は、「定期報告書の入力」画面を開くと、データ更新・入力保存が必要である旨のメッセージを表示する。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-551	■「保存」と「更新」の一元化 ・「保存」と「更新」を分けるのではなく、「保存」ボタンを押下すると情報が自動で更新されるようにする。 ・「保存」ボタンを押下する前に「更新・反映」が押下された場合は、「保存」ボタンを押下するようアラートを表示する。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-552	■「保存」の必須化 ・「保存」ボタンを押下する前に「更新・反映」が押下された場合は、「保存」ボタンを押下するようアラートを表示する。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-553	■情報更新が無い場合の「保存」アラート非表示 ・更新が全くない場合は、「保存」のアラートを表示しないようにする。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-554	■更新履歴の表示 ・直近で報告書データの更新を行った日時・ユーザを表示する。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-555	■「報告書データの更新」ボタンの常時表示 ・「報告書データの更新」ボタンを画面右上に固定表示する。																																																																																																																																																																																																																														
				○	○	○	○		○							●	STEP8	3-556	■エネルギー使用量・活動量の自動反映 ・入力したエネルギー使用量・その他活動量を保存した段階で、「更新」ボタンを押下しなくても情報が報告書に反映されるようにする。																																																																																																																																																																																																																														
				○	○	○	○	○	○	○						●	STEP8	3-558	■数値削除時の自動連携項目への反映 ・数値を削除した際、連動する自動反映部分も削除されるようにする。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP6 STEP8	3-288	■「報告書データの更新」の仕様改善 ・現在は、XMLファイルをアップロードして報告書を登録した後で「報告書データの更新」ボタンを押下すると、登録したデータが消えてしまう(XMLの内容がDBのデータに書き換えられる)。 ・これを、報告書データを保存(または「報告書データの更新」ボタンを押下)した際にもデータが消えないようにする。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP6 STEP8	3-290	■表削除操作の柔軟化 ・Web入力で報告書を作成した際、特定の表のみ削除できるようにする。(例えば、省エネ法定定期報告書の場合、特定表や認定表は削除せず、指定表だけ削除できるようにする。)																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP6 STEP8	3-291	■報告書の表タブの表示色の変更 ・エラが残っている表のタブは赤色で表示されるが、アラートが残っている表の強調表示は存在しない。これを、アラートが残っている場合にタブが黄色で表示されるようにする。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP6 STEP8	3-292	■報告書作成画面の改善 ・現状、報告書作成画面において垂直タブ等XMLでエンコード不可の文字が入った状態で保存しようとするとシステムエラーになるが、システムエラーとするのではなく、エラーの内容が分かるように表示するか、そもそもエラーとならないようにする。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-408	■入力規則の厳格化 ・テキストが記載されるべき箇所は、全角文字が2文字未満ならアラートを出す等、入力規則を厳格にする。 ※中長期計画書のIVの1-3「その他の指標の状況」、2「非化石エネルギーへの転換に関する計画内容及び期待効果」等			数値のセルにテキストを記入したり、密接値として数値を書いてきたりするものがある。																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-409	■文字化けの検知 ・環境依存文字を自動で検出し、修正を促すようにする。	1-115 3-364		「m」等、文字化けしている場合がある。 ※環境依存文字に関する要件は、これ以外に「1-115」「3-364」がある。																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-410	■「%入力」の確認・警告表示 ・バーチャルシシの項目について、「%」で報告されているか、「絶対値」で報告されているかを判断できるようにする。(事を報告させる入力欄は、あらかじめ「%」を表記して「%」での報告を促す、1未満の入力にはアラートを出して確認を促す、等) ※定期報告書 特定第6表「ベンチマーク指標の状況」等			例えば、0.2と記載されているデータが「0.2%」なのか「0.2＝20%」なのか判断できないデータが存在している。																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-411	■最終更新日情報の通知 ・データの最終更新日をシステム内で保持するようにし、データを出力する際、その情報が出力されるようにする。			特に工場の開示制度のために必要な機能。																																																																																																																																																																																																																											
				○	○	○	○	○		○						●	STEP8	3-559	■前年度データ取込み機能の活用促進 ・定期報告書・中長期計画書に関し、前年度データの取り込み・反映ができることを知らない事業者が多いため、当該機能を目立つように表示したり、入力欄にカーソルを合わせた際に注釈を表示するなどとして、事業者が当該機能に気づきやすいようにする。																																																																																																																																																																																																																														
				○	○	○	○	○	○	○						●	STEP6 STEP8	4-989 3-509	■「0」のデフォルト表示 ・数値入力が必要な項目は、「0」を手入力しなくても、提出される報告書には0が自動で入力されるようにする。 ・温対法集計ツールにおける排出量の検索において、ゼロと空欄(報告無し)を区別して検索できるようにする。			温対法報告書における排出量については、「0」と「空欄」は意味が異なる(0は排出有り、空欄は排出無し)ため、空欄の場合は「0」とせず、空欄のままとする。																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-560	■表タブの固定表示 ・報告書の表のタブについて、画面内に固定表示する。(下部にスクロールしても常に表示されているようにする)																																																																																																																																																																																																																														
				○	○	○	○	○		○						●	STEP8	3-412	■温室効果ガス排出量に係るチェック機能の強化 ・温室効果ガス排出量の前年度との比較チェックについて、省エネ法様式(工場・荷主・輸送)と温対法様式で表示条件が整合していないので統一する。閾値の水準を検討する際には、警告の多発につながらないように配慮する。 ・事業者ユーザが入力ミスに気づきやすいよう、報告書を提出する前に、排出量算定結果の時系列グラフを表示し、異常値に気づきやすいようにする。			■省エネ法工場・荷主・輸送様式 (ChkNo:工場の場合はChk-KJ000590/Chk-KJ001180) 「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量が昨年度の報告内容と比較して1桁以上かつ5%以上異なります。間違いありませんでしょうか。[昨年度:●●t-CO2][当年度:●●t-CO2]」 ■温対法様式 (ChkNo:Chk-GG005000/05010)→2倍、1/2が閾値 「●●の排出量が昨年度の報告内容と比較して●●%以上異なります。間違いありませんか。[昨年度:●●t-CO2][当年度:●●t-CO2]」																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-561	■温室効果ガス排出量の「自動算出結果」との比較チェックの改善 ・調整後排出量の「自動算出結果」との比較チェックによるアラート表示について、修正すべき箇所が分かるよう、自動算出のロジックや算出結果の内訳を示す。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-562	■自動計算値・表示値の根拠を表示する ・排出量の自動計算結果が自社の手元計算と一致せず、算定ロジックについて照会を受けることがあるため、自動計算の内訳を表示できるようにする。			・報告に間に合わせるため2027年6月頃のリリースを想定																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-563	■エラーチェックの強化 ・STEP7で設計したエラーチェックの強化(3-417・3-445・3-481・4-186)について、STEP7において実装できなかった内容を実装する。 ・STEP7の要件4-186で、省庁ユーザ向けにアラートを強化したチェック項目について、事業者ユーザ向けにも同様のアラート強化を行う。																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-564	■前年度報告データの修正計算及び当年度報告への計算結果の活用 ・EEGS導入前に使われていた定期報告書作成支援ツールでは前年度報告値の修正が可能だったが、EEGSでは前年度報告書の修正ができないため、事業者は計算により修正しているのが現状。 ・そこで、EEGSで前年度報告データの修正計算を可能とするとともに、修正後の前年度データを当年度の報告書作成に活用できるようにする。	3-366 4-184		EEGSで提出された前年度データとは別に同内容のデータを保持した環境を設け、今後作成・提出する報告書に記載する前年度データを修正したい場合等に当該データを活用できるようにするイメージ。(修正した前年度データは、既に提出された前年度データには反映しない)																																																																																																																																																																																																																											
				○				○	○	○						●	STEP6 STEP8	3-301	■事業者ユーザの編集ロック ・現状は、事業者ユーザが入力を行った後で、事業者ユーザが内容の確認を行っている間でも、事業者ユーザが内容を変更できてしまう。 ・そこで、事業者ユーザが入力を完了した上で「入力内容の確認」ボタンを押下すると、事業者ユーザが内容を変更できないようにする。 ・事業者ユーザが確認を解除できるようにする。																																																																																																																																																																																																																														
				○				○		○						●	STEP8	3-565	■テナント・オーナーの報告関係 ・ビル等のテナントとオーナーの報告において、証書利用等が重複する可能性があるため、チェック項目等の増設により、証書等が適切に使用されるように改修の必要がある。																																																																																																																																																																																																																														
				○	○					○						●	STEP8	3-567	■(工場・荷主)エラーチェックの追加 ・工場・荷主の両制度について、エラーチェックを追加する。(最低44件、最大50件)																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-568	■(工場・荷主)デジタルアダプションツールによる入力支援の追加 ・工場・荷主の両制度について、デジタルアダプションツールによる入力支援機能を追加する。(最低49件、最大60件)																																																																																																																																																																																																																														
																●	STEP8	3-618	■(工場・荷主)ボタン操作に係る不具合解消 ・特定のモーダル(ウィンドウやダイアログ)を開くためのボタンを2回以上連続でクリックした際に、モーダルが開かれた後にボタン操作が効かなくなる不具合を解消する。			【不具合が判明している対象画面】 ・RPTG0201.19.電気種別入力画面 荷主画面 → RPTG0201.10.電気事業者買電入力画面 ・RPTG0201.13.熱使用入力画面 → RPTG0201.04.熱補助画面																																																																																																																																																																																																																											
																●	STEP8	3-674	■原単位分母・原単位に係るエラーチェック強化 ・原単位分母の名称・単位が前年度と異なる場合に警告を表示する。 ・原単位分母の値(前年度からの単位の変動を考慮)が前年度に比べて極端に変動している場合、また、同業他者と比べて過大・過小である場合に警告を表示する。 ・「原単位の対前年度比」が、前年度報告値に比べて極端に変動している場合に警告を表示する。	3-446		荷主については、原単位分母の名称・単位の選択肢化(3-446)とあわせて実施する。																																																																																																																																																																																																																											
				○	○					○	○					●	STEP8	3-569	■(工場・荷主)自由記述欄の類型選択肢化 ・中長期計画書・定期報告書の自由記述欄を分析しやすいよう、類型の選択肢(ボタン)を設け、事業者に入力時に選択させるとともに、省庁側がその情報を報告書情報とあわせて出力できるようにする。																																																																																																																																																																																																																														
			ファイルアップロード関連			○	○	○	○	○	○					●	STEP8	3-458	■ファイルアップロード失敗時のファイル名称非表示化 ・報告書ファイルのアップロードに関して、ファイルアップロードに失敗した場合には、画面内にファイル名が表示されないようにする。																																																																																																																																																																																																																														
																	●	STEP8	3-570	■再アップロード時のデータ上書き ・同名・同種類のファイルを再アップロードした際は、手動削除を不要とし、「上書き確認ポップアップ」を表示した上でそのまま上書きする。																																																																																																																																																																																																																													
						○			○	○	○	○					●	STEP6 STEP8	3-303	■複数の事業所別ファイルの一括取込 ・外部の報告書作成支援ツールで作成した報告書ファイルをアップロードする際、複数の事業所別ファイルをまとめてアップロードできるようにする。			・省エネ法工場については要件3-226で実現。																																																																																																																																																																																																																										
						○			○		○						●	STEP6 STEP8	3-304	■温対法様式Excelからの取込 ・省エネ法定定期報告書(WEB入力)に6.5ガスの温室効果ガス排出量情報を含めるにはその他活動量を入力する必要があるが、温対法様式Excelをアップロードした場合も、改めてEEGSにその他活動量を入力する必要があるが生じ、二度手間になる。 ・そこで、温対法様式Excelをアップロードした場合には、そこから省エネ法定定期報告書に6.5ガスの温室効果ガス排出量情報を取り込めるようにする。																																																																																																																																																																																																																													
			省エネ法定定期報告書の作成	定期報告書Web入力 (「工場等」に関する事項)	○	○				○	○				●	STEP8	3-572	■原単位等の修正における過年度情報の活用 ・当年度の原単位分母や原単位の修正に、過年度の定期報告書情報を使用できるようにする。																																																																																																																																																																																																																															
					○						○	○			●	STEP3 STEP5 STEP8	3-035	■連携非特定事業者の報告書作成 ・連携非特定事業者について、定期報告書のWeb入力機能を実装する。 －入力する様式を選択し、選択した様式にWeb入力できるようにする。 －ユーザ情報等登録済みのデータから、事業者名や住所、エネルギー使用量等を引用して、入力・編集画面に表示する。 －第2表において、連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー使用量、販売した副生エネルギーの量を入力可能とする。 －以前の原単位を変更できるようにする。その場合、対前年度比は自動計算する。 －郵便番号から住所を取得可能とする。 －産業分類から事業コード、主たる事業名を取得可能とする。 －入力した内容をデータベースに保存する。 －入力した内容に対するエラーチェックを実施する。 －Web入力を行った場合は、報告書のアップロードを不可とする。 ・事業者側の作成・提出機能の改修に対応し、省庁側の閲覧・受理・編集・出力・集計等の機能も改修する。																																																																																																																																																																																																																															
					○						○				●	STEP5 STEP8	3-213	■「連携省エネルギー措置に関するエネルギー使用量」の自動集計 ・認定表で入力された「連携省エネルギー措置に関するエネルギー使用量」を、特定表へ自動集計されるようにする。																																																																																																																																																																																																																															
															●	STEP8	3-573	■特定表と認定表の保存有無の違いに起因する画面表示の不具合解消 ・特定表は保存したが認定表は保存していない状態において、「Web編集」ボタンで表示した特定表の「総括表」タブの「認定表の入力」ボタンをクリックするとシステムエラーになるため、この不具合を解消する。																																																																																																																																																																																																																															
															●	STEP6 STEP8	3-314	■事業の並び順の変更 ・定期報告書の特定第3表・特定第12表・認定第5表に記載される事業の順番を変更できるようにする。			・各事業が表示されている行に順番を入れ替えるボタン(▽△)を追加する。 ・システムの処理上、「報告書データの更新」ボタンを押すと、順番はデフォルトに戻る制約が発生する。																																																																																																																																																																																																																												
															●	STEP8	3-322	■前年度取込ファイルからの情報抽出機能の制度改正対応 ・省エネ法定定期報告書(工場等)に関し、昨年度提出した報告書のXMLファイルから文字データ(数値項目以外)を取り込み当年度報告書に反映させる機能について、省エネ法制度改正の内容を反映させる。			STEP5の要件3-200において、2024/9/30までの制度改正内容を反映する形で実装。2024/10/1以降の制度改正内容は本要件にて対応する。																																																																																																																																																																																																																												

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ				要件類型				開発 ステップ	要件 No	要件	関連項目	要件備考	
				省エネ工場	省エネ・荷主	省エネ・輸送	温対法	フロ法	事業者	省庁	一般	法定改正対応・制	持テセ対イキ・基リ盤種	不具合対応	報告精度向上						とザノ利の、運用満業付数序効率者、削減向上、省エネ
																STEP7 STEP8	3-420	■ 離散データ同期 ・以下の定期報告書と中長期計画書の項目は同値なので、二重入力させずデータを同期させるか、一致していない場合はエラー・アラートを表示する。 →荷主第5表2-1・2-2と荷主中長期計画書Ⅲ1-1・1-5の非化石自動車目標値			
																STEP8	3-424	■ 表ヘッダ部の常時表示 ・報告書作成画面における特定・認定第2表1-1にて表を縦にスクロールしてもヘッダ部分が隠れないようにする。	・現状、スクロールしてもヘッダが表示されるように固定されているが、列ヘッダが行ヘッダを上書きするように表示されている。 ・特定・認定表のみの問題であり、指定表は該当の挙動はない。		
																STEP8	3-575	■ 株式会社銘柄コードの英字入力許容 ・定期報告書(特定表)画面で、英字を含む株式会社銘柄コードを入力するとエラーとなってしまう不具合を解消する。	既存不具合(STEP4で発生) 【事業者基本情報入力画面】 ・株式会社銘柄コードが4桁以外で入力が可能(株式会社銘柄コードは4桁しかないで誤り) ・英字での入力が可能(株式会社銘柄コードは2024年1月から英字を使用されているが正しい) 【省エネ法:定期報告書(特定表)画面】 ・株式会社銘柄コードが4桁以外で入力するとエラー(正しい) ・英字での入力でエラー(誤り)		
																STEP8	3-577	■ エネルギー管理企画推進者の連絡先に係るエラーチェック ・特定第1表においてエネルギー管理企画推進者の電話番号・メールアドレスが未記載の場合はエラーとする。			
																STEP8	3-578	■ エネルギー管理企画推進者の連絡先の表記適正化 ・エネルギー管理企画推進者の連絡先について、電話番号にハイフンを入れないと、Excelにダウンロードした際に正しく表示されない。ハイフンを入れないと警告を表示するか、Excelファイルの電話番号欄の形式を中長期計画書と合わせる。			
																STEP8	3-579	■ エネルギー管理関係者に係るエラーメッセージの表記改善 ・定期報告書のエネルギー管理統括者・企画推進者情報について、入力チェックを行うと「第1表:エネルギー管理企画推進者情報の職名(氏名)の内容とシステムに登録された内容に差分があります。」とのメッセージが表示されるが、「システムに登録された内容」が何を指すのかわかりにくいので、確認・修正しやすいよう表記を見直す。			
																STEP8	3-557	■ エネルギー使用量の特定表・指定表への自動反映 ・エネルギー使用量等を変更して「報告書データの更新」を押下した場合、特定表・指定表に同時に反映されるようにする。(現状、特定表または指定表の一方だけが更新されているケースがある)	現在のEEGSでは特定表と指定表は別の報告書として扱われており、更新処理は、編集中の報告書に対してのみ内容を更新する仕様となっている。保存処理についても同様であり、特定表から指定表に遷移した場合であっても、「指定表画面にて保存」→「特定表画面にて保存」の操作が必要となっている。		
																STEP8	3-504	■ 選解任届出書提出状況の確認ポップアップ表示、エラー表示 ・前年度からエネルギー管理統括者・企画推進者に変更がある場合、選解任届出書の提出状況を自動で確認し、未提出の場合は提出を促すポップアップを表示する。また、報告書のチェックを行う段階でエラーのないし警告を表示する。			
																STEP8	3-566	■ エネルギー管理関係者のマスタとの比較チェック ・定期報告書・中長期計画書に記載されているエネルギー管理統括者・企画推進者、エネルギー管理者(管理員)が、EEGS(旧省エネ法システム)における登録者と異なっている場合は警告を表示し、選解任届を提出するように促す。			
																STEP8	3-673	■ 非化石エネルギーに係る異常値エラーチェック ・特定/認定/指定第2表、特定第4表の3において、非化石エネルギー比率に係るエラーチェックを実装する。 →エネルギー使用量に占める非化石エネルギーの割合が100%を超えている場合/マイナスになっている場合 →前年度報告から大幅な変動がある場合 →目標値がゼロになっている場合 等			
																STEP8	3-426	■ 特定第2表における表示見直し ・特定第2表の「前年度原油換算kl」に不正な入力を行った場合、その下の「対前年比」にハイフンが表示される場合と、空白が表示される場合があるため、表示を統一する。			
																STEP8	3-581	■ 特定第2表の自家発電電力の選択肢化 ・現状、特定第2表1-1の「自家発電、その他、非燃料由来の非化石」「自家発電、その他、非燃料由来の非化石」は自由記入欄になっているが、電源種類をチェックボックスやプルダウンで選択できるようにする。(自由記入も残す)			
																STEP8	3-582	■ 特定第2表の非化石電気に係る電源種類の選択肢化 ・特定第2表1-1で、PPAや電気事業者の非化石電気メニューを入力する場合、電源種類をチェックボックスやプルダウンで選択できるようにする。			
																STEP8	3-583	■ 特定第2表1-3のDR実施日数の入力制御 ・特定第2表1-3のDR実施日数の入力に関し、記録保管の有無を選択させ、「有」を選んだ場合のみ日数を入力できるようにする。	記入要領P212(別添資料8)で記録を残すよう記載があり、入力値が30日を超える事業者には記録の有無を報告書提出時のコメントに記載するよう指示しているが、なかなか対応してもらえないのが現状。		
																STEP8	3-584	■ 特定第2表1-6の非FIT証書に係る電源種類の選択肢化 ・特定第2表1-6において「非FIT証書(再エネ指定あり)」を選択した場合、電源種類をチェックボックスやプルダウンで選択できるようにする。また、選択した内容を出力ファイルにも表示する。			
																STEP8	3-585	■ 特定第2表1-6の証書未添付エラー ・特定第2表1-6で証書が未添付の場合、エラーとする。			
																STEP8	3-586	■ 特定第2表1-6の出力情報詳細化 ・特定第2表1-6に関して、現状「非化石証書」としてCSV出力されている内容を、「FIT証書」「非FIT証書(再エネ指定あり)」「非FIT証書(再エネ指定なし)」に分けてCSV出力する。			
																STEP8	3-587	■ 届出済報告書の入力ログに係る不具合解消 ・届出済の報告書においても、事業者基本情報入力画面で月別・時間帯別の選択を変更した場合に、「1-2電気需要最適化を踏まえた電力使用量の内訳」の画面上の表示が変更されてしまう問題を解消する。	・本来、提出済みの報告書は差戻しや取り下げをしない限り設定変更の影響を受けないこととすべき。 ・PDF上は提出時点のデータで出力される。		
																STEP8	3-429	■ 特定第3表に係る項目説明の追加 ・特定第3表1-1・2-1の「非化石燃料の補正を踏まえたエネルギーの使用量(原油換算kl)」について、特定第2表におけるエネルギー使用量合計の「うち非化石」に補正がかかると誤解している利用者が多いため、「？」ボタンを追加するなどして、補正対象が「非化石燃料」である旨の説明を表示する。			
																STEP8	3-588	■ 特定第3表に係るエラーチェックの適正化 ・特定第3表における事業分類毎の原単位・寄与度等に係る「報告値と内部計算結果に1%以上の相違がある」旨の警告について、小数点以下四捨五入の影響によるもので実際には修正不要であるケースが多いため、警告表示の要否や閾値の設定を見直す。(本件による警告が多発するため、他の警告が埋もれやすい)			
																STEP8	3-589	■ 特定第4表のエネルギー消費原単位の経年変化に係るエラーチェック ・原単位の前年度に対する経年変化が過大な場合に警告を表示する。 ・警告に対して事業者によるデータ情報確認が行われたかが分かるようにチェック欄を設け、その結果を省庁側に確認できるようにする。	・現状、前年度に対して倍半分で大きく変化していてもチェックがからずすり抜けてしまっている。		
																STEP8	3-590	■ 特定第4表3-1の目標値の自動反映 ・特定第4表3-1「非化石電気の使用状況」の2030年度目標値は、直前に提出した中長期計画書に記入した内容と一致させる必要があるため、直近年度の中長期計画書から自動連携させて、数値の変更が出来るようにする。			
																STEP8	3-591	■ 特定第4表3-1に係る対象電源の変更 ・特定第4表3-1「非化石電気の使用状況」において、「重み付け非化石」の対象電源を見直す。具体的には、「使用電気全体に占める非化石電気の比率」の計算時に、1.2倍する電源を変更する。			
																STEP8	3-592	■ 特定第4表3-1「非化石電気の使用状況」の算出過程の表示 ・特定第4表3-1「非化石電気の使用状況」について、算出過程とその内訳を表示する。 (表示例) 非化石電気の使用状況 = (非化石電気の使用量(重み付け非化石1.2倍) + II - III) / (全電気使用量(重み付け非化石1.2倍) - III) = □% 全電気使用量(重み付け非化石1.2倍) = □□千kWh(●●GJ) (△△kl) 非化石電気の使用量(重み付け非化石1.2倍) = □□千kWh(●●GJ) (△△kl) 重み付け非化石1.2倍 = □□千kWh(●●GJ) (△△kl) II = □□千kWh(●●GJ) (△△kl) - III = □□千kWh(●●GJ) (△△kl)	3-293	事業者から、非化石証書等が反映され、正しく算出されているかの問合せが多い状況。	
																STEP8	3-593	■ 特定第4表3-2「定量目標の目安に関する指標の状況」の算出過程の表示 ・特定第4表3-2「定量目標の目安に関する指標の状況」について、算出過程とその内訳を表示する。 (表示例) 【業種等】区分2(セメント製造業)、指標(焼成工程における非化石燃料の割合)、目安となる水準(59%以上) 【内訳】 焼成工程における燃料の使用量 = (△△kl) 焼成工程における化石燃料の使用量 = (△△kl) 焼成工程における非化石燃料の使用量 = (△△kl)	3-293	目安設定業種(5業種8分野)の業種ごとに指標が異なる。	
																STEP8	3-594	■ 特定第5表3-1「非化石電気の使用状況」の2030年度目標値は、直前に提出した中長期計画書に記入した内容と一致させる必要があるため、直近年度の中長期計画書から自動連携させて、数値の変更が出来るようにする。			
																STEP8	3-595	■ 「特定第4表原単位試算ツール」の改善 ・EEGSからダウンロードできる「工場特定第4表原単位試算ツール」に、過年度報告値や原単位母数の変更要否の検討手順や、そのために事前整理が必要な事項が分かるようなガイドラインやチェックシートを追加する。			
																STEP8	3-431	■ 特定第6表のUI改善① ・特定第6表におけるベンチマーク達成率自動計算ボタンが分かりにくいため、目立つように赤色にする、押下を促す注記を加えるなど、ボタンの押下を促す工夫を講じる。			
																STEP8	3-596	■ 特定第6表のUI改善② ・特定第6表の入力画面が横に長くスクロールの負担が大きいため、視認性を改善する。			
																STEP8	3-597	■ ベンチマークの自動計算(ホテル、ショッピングセンター等報告者数の多い業種を優先) ・特定第6表の「ベンチマーク指標の状況」について、対象事業のエネルギー使用量等の基礎情報を入力することで自動計算されるように改修する。 ・報告事業者数の多いホテル業、ショッピングセンター業、食料品スーパー業等から順次対応する。	新法値対応ができたものから自動計算を実施する。 (参考) 計算ツールはこちらに掲載。 https://www.enicho.metu.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/factory/support-tools/index.html		
																STEP8	3-598	■ 特定第6表のエネルギー使用量に係る入力制御 ・事業者情報入力画面において新法値対応業種のみを選択している事業者については、エネルギー使用量の入力欄で旧法値の入力表示が出ないようにする。			
																STEP8	3-599	■ 特定第6表のエネルギー使用量に係る警告表示 ・特定第6表のベンチマーク対象事業のエネルギー使用量について、新法値で入力した場合はアラートを表示する。			
																STEP8	3-600	■ 特定第6表に係るベンチマークの変更(新法値対応) ・最大4分野を対象にベンチマーク制度の見直しを行う。具体的には、50%判定を新法値基準に変更する。	新法値対応ができたものから自動計算を実施する。		
																STEP8	3-601	■ 特定第6表のベンチマーク達成率の自動計算 ・特定第6表のベンチマーク達成率を自動計算により算出できるようにする。	新法値対応ができたものから自動計算を実施する。		
																STEP8	3-603	■ 特定第8表の電力使用量及びエネルギー消費原単位に自動計算追加 ・特定第8表(データセンターのエネルギーの使用状況等)の1-1及び1-2にて、電気使用量とエネルギー消費原単位の記入を求めているところ、電気使用量は一部非化石電気のみ重み付け(×1.2)、エネルギー消費原単位は非化石燃料の重み付け(×0.8)を考慮する必要がある。 ・現在は別途計算ツールを作成し、それを使用して事業者にて計算することとなっているが、EEGSにて自動計算が行われるようにす			
																STEP8	3-435	■ 特定第10表に係るエラーメッセージの改善 ・特定第10表に係るエラーメッセージ「第10表:4行目の「中長期作成指針」は存在しない作成指針です。…」について、「第10表の4にある1行目」と読み取れず「41行目」と勘違いする利用者が多いため、表記を改善する。			
																STEP8	3-604	■ 特定第10表4の「クリア」ボタンに係る不具合解消 ・特定第10表4「エネルギー使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面」の「クリア」ボタン押下により明細行がクリアされない不具合を解消する。			
																STEP8	3-605	■ 特定第10表4・5における中長期計画書記載情報の自動表示 ・特定第10表4・5の「中長期計画書記載事項の実施状況」には、直近年度に提出した中長期計画書の情報を自動表示する。 ・自動表示を実施しない場合には、直近年度で中長期計画書にエネルギーの使用の合理化に関する計画や非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画が記載されているにも関わらず、特定第10表4・5が未入力の場合、エラーのないし警告を表示する。			
																STEP8	3-609	■ 特定第10表4における中長期計画作成指針の分類設定 ・特定第10表4の「中長期計画書の記載事項の実施状況入力」画面の中長期計画作成指針の中分類、小分類、細分類の選択肢が未設定なので、実際の中長期計画作成指針に基づき、詳細を設定する。			
																STEP8	3-438	■ 特定第13表1における排出量の桁区切り表示 ・特定第13表1において、事業者全体の排出量は「桁区切りあり」だが、細分類番号ごとの排出量は「桁区切りなし」となっている。桁区切りがあると、見やすく間違いの未然防止になるので、細分類番号ごとの排出量も「桁区切りあり」に修正する。	1-112 3-380 3-423 3-442 3-450		
																STEP8	3-439	■ 特定第13表に係るエラー表示の改善 ・特定第13表1で、報告するCO2排出量がごく小さい値の場合、値の切り捨て処理により、事業者全体の排出量と事業分類別の合計排出量の乖離に起因してエラーとなってしまう場合があるため、これを解消する。			
																STEP8	3-612	■ 独自の排出係数を用いた場合の画面表示の改善 ・事業者基本情報入力画面で、「温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算出方法又は係数を使用しますか」に、「はい」を選択すると、「エネルギー使用量の入力」の右側に「独自係数または実測排出量の入力」の列が追加される。ここで「法に基づく命」に定める算定方法で、独自の排出係数(単位発熱量・排出係数)を使うを選択すると、独自の係数に変更される。 ・この場合、指定第2表1-1の使用量は、化石燃料は法定係数、非化石燃料は独自に変更した係数で表示される。一方、CO2排出量は両者とも変更した値で算定され、「エネルギー使用/販売量の入力」に表示される。 ・化石燃料と非化石燃料で使用量の算定方法が異なることとなるため、そのことが分かるように画面表示を改善する。			
																STEP8	3-613	■ 指定第3表に係る昨年度報告情報のコピー ・指定第3表の「エネルギーの使用の合理化に関する設備」と「上記以外のエネルギーを消費する主要な設備」は手入力が必要となっているが、特定第10表4・5と同様、昨年度の指定表からのコピー機能をつける。			
																STEP8	3-614	■ 指定第5表2の電気需要最適化評価原単位に係る計算過程の説明追加 ・指定第5表2の電気需要最適化評価原単位の分子「電気需要最適化算電量評価後のエネルギー使用量」の計算過程を、デジタルダッシュボードでサポートする。 ・具体的には、算定に用いた電気需要最適化を踏まえたエネルギーの使用量、非化石燃料の補正によるエネルギー使用量等の各値を算定式で示す。	算定結果に対する算定過程の問い合わせが多い状況。		
																STEP8	3-440	■ 指定第6表のポップアップ表示の見直し ・指定第6表の入力欄にマウスオーバーすると「事業者として複数の原単位を持つ場合は、原単位の記載は不要」とのポップアップ表示がなされるが、これが特定第4表と全く同じであり指定第6表としては適切ではないため、修正する。			

大分類	中分類	小分類	機能名	制度					ユーザ			要件類型										開発 ステップ	要件 No		関連項目	要件備考
				省エネ工場	省エネ荷主	省エネ輸送	温対法	フロ法	事業者	省庁	一般	度法令改正対応	持テセキ対応・ユキ基盤	不具合対応	報告精度向上	とザの事	の事	の事	の事	の事	の事					
													●									STEP8	3-615	■指定第6表における横スライドバー表示の不具合解消 ・指定第6表において、画面幅が狭い場合に横スライドバーが表示されず確認ができないため、これを解消する。		
														●								STEP8	3-616	■指定第6表3に係るエラー表示 ・指定第6表の3「2030年度の目標値」が空欄の場合にエラーを表示する。		
														●								STEP7 STEP8	3-433	■指定第6表が未記入の場合のエラー表示 ・指定第8表の入力漏れが発生している。【デフォルトがグレーアウト表示→選択ボックスに値を入れると活性化】という仕様を見直して入力が必要であることを視覚的に分かるようにするとともに、入力がない場合はエラーとする。	3-238	
																●						STEP8	3-442	■指定第10表入力画面における温室効果ガス排出量表示の改善 ・指定第10表において、温室効果ガス算定排出量が桁区切り無しで表示されている。これを、桁区切り有りに変更する。	1-112 3-380 3-423 3-438 3-450	
													●									STEP8	3-443	■指定第10表1の不具合解消 ・エネルギー使用量入力画面で極端に大きな値を入力すると、指定-第10表の1がオーバフローして「0」と入力される不具合を解消する。		
			(「荷主」に関する事項)		○				○								●					STEP6 STEP8	3-325 3-414	■荷主における連携入力欄の非表示設定 ・荷主についても工場と同様、事業者情報の入力画面で連携省エネ実施の有無に関するチェックボックスを設け、「有」にチェックを入れた場合のみ、連携省エネに関する入力欄が表示されるようにする。	3-414	・工場の場合は、冒頭で連携省エネにチェックを入れた場合に入力欄が表示されるようになっている。 ・荷主の場合は、そうしたチェックボックスはなく、連携省エネに係るエネルギー使用量を入力する場合は「行追加」ボタンを押下して入力を進めるようになっており、該当事業者以外でも入力可能になっている。
															●							STEP8	3-446	■自由記述項目の選択肢化 ・事業者の入力ミスの防止及び分析精度の向上を目的とし、以下の項目を選択肢化した上で、自由記述欄を入力させるようにする。 －原単位分母の種類(桁を含む)の選択肢化 －計画内容の選択肢化 ・CSV出力時には選択結果も出力されるようにする。		
													●									STEP8	3-447	■事業者と担当者の権限の不整合解消 ・現在、事業者情報でチェックが付いている制度に関しても、担当者情報で権限を付与できてしまう。その場合、当該制度のアイコンが表示されるが、事業者情報で制度にチェックが付与されている場合に必須となる項目が未入力である場合、アイコンをクリックした際にシステムエラーとなってしまう。 ・そこで、事業者情報でチェックが付いている制度のみ、担当者情報で権限を付与できるように改修する。	2-384(事業者情報と管理者権限の連携)	現状、アイコンをクリックしてもシステムエラーが発生し、報告書の作成はできないため、運用上の問題は生じていない。
													●									STEP8	3-619	■荷主第5表に係るシステム内部不具合の解消 ・荷主第5表で2-6の「専らバイオ燃料・合成燃料を使用する自動車」項目からフォーカスアウトするとコンソール(コマンド入力画面)にエラーが出力される不具合を解消する。		コンソールにエラーが出力されるが、後続処理がないため、現状、動作への影響は無い。
													●									STEP8	3-620	■荷主指定第2表の出力に係る不具合解消 ・荷主指定第2表の「荷主連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー使用量」の入力時に、不正文字を入れると自動計算後に空白ではなくハイフンが入る不具合を解消する。		STEP4からの既存不具合。 荷主連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー使用量の対前年比について、初期表示は空白だが、前年度原油換算kLに数字以外の文字を入れると自動計算が定った後にハイフンが入る。その後以前年度原油換算kLを空白にしたリ他の文字や0を入れたりしても、空白には戻らずにハイフンが入る状況。
															●							STEP8	3-450	■荷主付表3入力画面におけるエネルギー使用量表示の改善 ・荷主付表3のエネルギー使用量表示に3桁区切りのカンマがなく、かつ小数点以下の数値が多数表示されてしまうので分かりにくくなっている。整数表示にするとともに、3桁区切りのカンマを付けて、数値を直感的に把握できるようにする。	1-112 3-380 3-423 3-438 3-442	
															●							STEP8	3-621	■「省エネ法荷主」デジタルアダプションツールを用いた入力支援 ・省エネ法荷主の中長期計画書・定期報告書の作成に関し、デジタルアダプションツールを用いた入力支援機能を実装する。		
															●							STEP8	3-622	■荷主入力画面のUI改善 ・特定荷主のエネルギー使用量の入力画面が横に長く見づらいため、視認性を改善する。 ・特定荷主のエネルギー使用量の入力画面において、識別番号の隠蔽を入れ替えられるようにする。 ・付表3について、輸送区分の列の表示を固定し、横スクロールした場合に輸送区分と簡易計算の対応をわかりやすくする。		
			(「輸送」に関する事項)		○				○	○		●										STEP3 STEP8	3-059	■連携非特定輸送事業者の報告書作成 ・連携非特定事業者(貨物・旅客)について、定期報告書のWeb入力機能を実装する。 －入力する様式を選択し、選択した様式にWeb入力できるようにする。 －ユーザ情報等登録済みのデータから、事業者名や住所、エネルギー使用量等を引用して、入力・編集画面に表示する。 －第1表において、連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー使用量の量を入力可能とする。 －以前の原単位を変更できるようにする。その場合、対前年度比は自動計算する。 －郵便番号から住所を取得可能とする。 －産業分類から事業コード、また事業者名を取得可能とする。 －入力した内容をデータベースに保存する。 －入力した内容に対するエラーチェックを実施する。 －Web入力を行った場合は、報告書のアップロードを不可とする。 ・事業者側の作成・提出機能の改修に対応し、省庁側の閲覧・受理・編集・出力・集計等の機能も改修する。		STEP6から先送り、STEP7では要件化しない ※数値が存在する
					○				○			●										STEP8	3-327	■認定管理統括貨客輸送事業者の報告書作成機能の制度改正対応 ・認定管理統括貨客輸送事業者の定期報告書のWeb入力機能について、制度改正に対応した改修を行う。 ・事業者側の作成・提出機能の改修に対応し、省庁側の閲覧・受理・編集・出力・集計等の機能も改修する。		
																●						STEP8	3-456	■エネルギー種類の表示の統一 ・エネルギー使用量の入力画面(輸送事業者)で「エネルギーの種類を追加する」を行うと、追加した項目のテキストボックスは左寄せ、既存項目のテキストボックスは右寄せとなるため、表示位置を統一する。		
																●						STEP8	3-623	■自動算出項目に係る説明の追加 ・自動算出項目の横に「計算根拠」ボタンを設け、計算過程の式を表示する。		
															●							STEP8	3-457	■エラーチェックの強化 ・以下の場合に警告を表示する。 ①特定輸送事業者指定番号が、特定輸送事業者の指定を受けた場合の番号と異なっている場合。昨年度と異なっている場合。 ②特定排出者番号が、EEGSのマスターデータと異なっている場合。昨年度と異なっている場合。 ③法人名称が、特定輸送事業者の指定を受けた場合の名称と異なっている場合。昨年度と異なっている場合。 ④エネルギー使用量、エネルギー使用原単位等について、昨年度からの乖離が大きいか場合や、過大・過小と考えられる場合。		・①②:EEGSでは実装済、温対法集計ツールでは未実装。ただし、EEGSでも昨年度との不整合は未実装。
													●									STEP8	3-624	■輸送第1表に係るエラーチェック ・輸送第1表のエネルギー使用量が計上されていない場合にエラーを表示し、提出不可とするエラーチェック処理を追加する。		
															●							STEP8	3-625	■輸送第2表に係るデータ連携及びエラーチェック ・輸送第2表に関し、前年度の記載内容を自動反映する機能を追加する。または、全記載されていない場合にエラーを表示する。		
															●							STEP8	3-626	■輸送第3表におけるデータの自動反映 ・輸送第3表の④-1の入力欄について、現状手入力となっているところ、第1表④-1で自動計算・表示されている値を自動反映する。		
															●							STEP8	3-627	■輸送第5表に係るエラーチェック ・輸送第5表3-2.において、①②③および⑤に空欄がある場合はエラー扱いとし、提出ができないようにする。		
															●							STEP8	3-628	■貨物第5表3.3の台数未入力時の操作に係る不具合解消 ・倉庫・物流センターの3.3「1台以下の貨物自動車(車両総重量4トン以下の貨物自動車)に係る参考情報」において、「台数」が未入力の行が残るように削除ボタンをクリックするとシステムエラーとなる不具合を解消する。		【エラー発生条件】 ・複数数値が存在する。 ・削除後に混合割合が50%以上で台数がnullのデータが存在する。
			(登録調査機関に係る事項)	○					○			●										STEP8	3-328	■登録調査機関が作成する報告書の表示適正化 ・登録調査機関が作成する省エネ工場等の報告書について、事業者が作成する定期報告書との差分が反映できていない点を修正する。(特定第9表・指定第8表における「対象項目別評価点入力欄の追加」)		
			定期報告書ファイルアップロード	○					○							●						STEP5 STEP8	3-225	■特定表と指定表のアップロード方法の改善 ・省エネ法工場等の特定表ファイルと指定表ファイルを用いた場所でのアップロードできるようにする。または、特定表をアップロードした後、指定表のアップロード画面に直接遷移できるようにする。 ・その実装が難しい場合は、報告書アップロード画面において、報告書種別タブで定期報告書(工場等)を選択した場合には、赤字で「特定表をアップロードしてください。指定表は次の画面からファイルを追加してください。」といった説明を表示する。(指定表は本画面からアップロードできない旨が分かるようにする。)		
																●						STEP8	3-460	■アップロードした報告書ファイルの編集可能化 ・報告書ファイルをアップロードしてEEGSに登録した場合でも、特定第13表4や6にある「行追加」ボタンを押下して報告書を編集できるようにする。		
													●									STEP8	3-461	■ファイルアップロード時のデータ更新の制御 ・XMLファイルアップロード後に、特定12表や指定10表にある「実測値の内容を転記」ボタンを押下すると、報告書データの更新処理が走り、システムエラーとなる場合がある。XMLファイルをアップロードした場合は「実測値の内容を転記」ボタンを押下できないようにするか、更新処理に分岐を設け、システムエラーにならないようにする。		
													●									STEP8	3-629	■ファイルアップロード時と提出時のチェック不整合の解消 ・XML構造定義書の定義と異なるXMLファイルをアップロードできてしまうが、提出時に「データ変更エラー」が発生して提出できない問題があるため、これを解消する。		特定第3表の連携省エネルギーに係るタグのチェックがアップロード時に抜けしており、提出時にはチェックすることでエラーが発生していることが原因。
															●							STEP8	3-630	■ファイルアップロード時の特定・指定第3表の表示に係る不具合解消 ・工場定期報告書のXMLファイルにおいて、「エネルギー使用量と密接な関係を持つ値」が未入力の場合、ファイルをアップロードすると、第3表②-1が表示されない場合があるため、この不具合を解消すること。		・STEP4以前からの仕様。 ・「前年度のエネルギー消費原単位X-1」は、事業者の密接関係項目、密接関係単位が一意でない場合は非表示(―)としている。現状は上記項目が未入力の場合も含めて―一意ではないと判断しているため、未入力が存在すると非表示となる。
															●							STEP8	3-631	■特定第6表の入力状況によるアップロードエラーの解消 ・工場定期報告書の特定第6表「ベンチマーク指標の状況」の区分が21個以上入力されている場合、XMLファイルアップロードでエラーとなる不具合を解消する。		特定第6表に表示されている区分は24個あり、Web入力ではタグが最大24回繰り返して生成されるが、XML構造定義では繰返し回数が20回で一致していないため、ファイルアップロードで取り込むとエラーで取り込めない。
					○				○						●							STEP8	3-632	■報告書の誤提出防止 ・報告書種別で認定管理統括貨客輸送事業者の様式を選択した場合に、確認ダイアログを表示する。 ・誤った報告書ファイルをアップロードした場合でもWeb入力を可能とするが、省庁側で報告書ファイルを削除できるようにする。		
			省エネ法中長期計画書の作成	○					○						●							STEP8	3-633	■(工場)中長期計画書「Ⅱ エネルギー使用量」の自動入力 ・中長期計画書Ⅱの「1」エネルギー使用量と定期報告書・特定第2表の原油換算値、また、中長期計画書Ⅳの1-1「指標の範囲全体のエネルギー使用量」と定期報告書・特定第8表3-1が同値になるようにデータを自動連携する。		令和9年度の記入要領に記載の計算方法でデータを自動連携すること。
															●							STEP8	3-634	■(工場)中長期計画書の計画期間の入力制御 ・中長期計画書Ⅰにおける「計画書の計画期間」の開始年度は提出年度をデフォルトとし、その上で翌年度も選択できるようにする。可能であれば、Ⅲの3-1、Ⅳの2から自動的に年度を設定できるようにする。		
															●							STEP8	3-635	■(工場)中長期計画書のⅢの3-2・3-3の年度に係る入力制御 ・中長期計画書のⅢの3表3-2合計欄及び3-3原単位削減期待効果欄の各年度は、3-1に記載の計画内容の開始時期と完了時期から自動入力されるようにする。 ・または、入力欄に「年度は、計画する措置の効果が発現する年度を全て選択」との説明を表示した上で、計画期間と矛盾していない未記入の場合に警告を表示する。		
															●							STEP8	3-636	■(工場)中長期計画書の様式とEEGS画面の表記ずれの解消 ・中長期計画書のⅢの3は、EEGSでは「3-1」「3-2合計」「3-3原単位削減期待効果」と表記されており、様式や記入要領と表記ずれが生じているため、表記を統一する。		
															●							STEP8	3-637	■(工場)中長期計画書のⅢの3に係るデータ反映 ・中長期計画書Ⅲの3について、3-1エネルギーの使用の合理化に関する計画内容及び期待効果の入力データをもとに、Ⅲ3-2合計の値を自動算出し、当該値を手動で変更できないようにする。		
															●							STEP8	3-472	■(工場)中長期計画書におけるエネルギー使用量表示の改善 ・中長期計画書Ⅳ1-1「指標の範囲全体のエネルギー使用量」を整数表示にする。		
															●							STEP8	3-638	■(工場)中長期計画書における不整合の解消 ・中長期計画書において、非化石転換の計画に関して「計画内容に変更なし」にチェックが入っている場合、直近年度の計画書の情報が反映されないという現象が生じているので、事業者・省庁ユーザが混乱しないように表示を工夫する。 ●4-1-1の「指標の範囲全体のエネルギー使用量」が、定期報告書の非化石エネルギー使用量と不整合が生じる ●非化石転換の計画期間と、4に記載されている計画内容の期間に関して不整合が生じる可能性がある。 ●記入要領では「計画内容に変更なし」の場合、4は空欄とのこととされており、記入要領とEEGS画面上の表示に不整合が生じている。		
				○	○				○						●							STEP8	3-639	■事業者基本情報から中長期計画書への情報転記の不具合解消 ・中長期計画書の法人名の英語表記と銘柄コードが、「計画書データの更新」を押しても事業者基本情報から転記されない不具合を解消する。		事業者基本情報から転記されない項目は、法人名(英語表記)と銘柄コード。どちらも必須項目ではない。
					○				○						●							STEP8	3-475	■(荷主)中長期計画書の入力制御 ・非化石エネルギー目標に係る記載ミスが多いため、ミスが多い項目について記載内容の補足説明を追加表示するほか、大小関係等の入力制御を行う。		
					○				○			●										STEP8	3-336	■(輸送)認定管理統括貨客輸送事業者、連携非特定輸送事業者の中長期計画書作成 ・認定管理統括貨客輸送事業者、連携非特定輸送事業者(貨物・旅客)を対象に、中長期計画書のWeb入力画面を実装する。 ・事業者側の作成・提出機能の改修に対応し、省庁側の閲覧・受理・編集・出力・集計等の機能も改修する。		
															●							STEP8	3-640	■(輸送)前年度中長期計画書からのデータ反映 ・輸送の中長期計画書について、事業者の入力画面においても省庁の入力画面と同様、前回の記載内容を別ウィンドウで表示できるようにするか、前回の内容をコピーできるようにする。		
			中長期計画書ファイルアップロード			○			○							●						STEP5 STEP7 STEP8 STEP8	3-231 3-476	■(荷主)中長期計画書のファイルアップロード ・省エネ法(荷主)の中長期計画書について、Excel様式からの取込みを可能とする。 ■(輸送)報告書種別に係るプルダウン表示の改善 ・報告書ファイルアップロード画面における「報告書種別」の選択肢について、「省エネ法中長期計画書(認定管理統括貨客輸送事業者)」の位置を「省エネ法中長期計画書(航空)」の下に移動する。(認定の中長期計画書だけ離れた位置にあり見つけにくいため)		
			省エネ法その他様式の作成 温対法報告書の作成	報告書Web入力					○						●							STEP8	3-337	■「常時使用される従業員の数」の入力箇所の変更 ・「常時使用される従業員の数」を、事業者基本情報入力画面ではなく、温対法の表紙で入力できるように変更する。		
															●							STEP8	3-478	■温対法報告書における電気の単位の見直し ・電気の単位表示について、省エネ法定期報告書では「kWhWh」に統一されているが、温対法関連の画面では「kWh」と「kWhWh」が混在している。記入ミスを防ぐため、全ての画面において「kWhWh」で統一する。		

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ				要件類型								開発 ステップ	要件 No	要件	関連項目	要件備考
				省エネ工場	省エネ荷主	省エネ輸送	温対法	フロン法	事業者	省庁	一般	法令改正対応・制	セキュリティ基盤機能	不具合対応	報告精度向上	事業者の業務満足度向上	行政効率化	運用コスト削減	高度化・特長					
				○					○	○								●		STEP8	3-661	■選任・解任届の同時提出の警告 ・エネルギー管理関係者の選任解任届について、現在は解任届を提出し、省庁が処理済としなければ、同日付での選任届出書を提出することができない。 ・しかし、同一事業者で同時に多数のエネルギー管理関係者の異動が生じるケースも多いことから、解任届・選任届を同時に提出し、省庁が解任処理に続けて選任処理を実施できるようにする。		
																		●		STEP8	3-662	■既選任がある場合のチェック ・エネルギー管理関係者選任届を事業者が提出する際に、他で既に選任されている場合は兼任・解任届を提出するように誘導する。 ・エネルギー管理関係者選任届を省庁側が受理する際に、他で既に選任されている場合は警告を表示する。		旧省エネ法システムでは、兼任手続きが本来必要なケース(エネルギー管理関係者の兼務・ダブリがある場合)の警告表示機能が存在した。
				○	○	○	○	○	○	○								●		STEP8	3-495	■定期報告書提出時のアンケート ・定期報告書を提出したタイミングでアンケートを実施できるようにする。 ・提出完了画面に質問事項を追加し、回答を保存する機能を設ける。 ・回答はEEGSのDB上に事業者情報と紐づけて保存する。 ・省庁ユーザが回答を出力できるようにする。		・検索機能や事業者等を指定した出力機能は不要。 ・外部アンケートリンクを埋め込み形でのアンケート機能は実装済み(S6-016-2)。EEGS内部のデータとの紐づけが必要であれば、改修が必要。

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ				要件類型				開発 ステップ	要件 No	要件	関連項目	要件備考				
				省エネ・工場	省エネ・荷主	省エネ・輸送	温対法	フロン法	事業者	省庁	一般	度法令改正対応・制	持テスキヤ・ユキ・基リ盤機	不具合対応	報告精度向上						とザ・利の・運・高	の事E省用満業E数序効足省E耐ユ事度ユ上集I化	とザ・利の・運・高	の事E省用満業E数序効足省E耐ユ事度ユ上集I化
			提出ファイルの一覧表示 提出ファイルのダウンロード(省庁向け機能)																		現状は、どの事業者・工場のエネルギー管理関係者に選任されているかを簡単に検索できるような機能は無く、旧省シス機能の指定管理(指定工場等)画面における工場一覧から各工場の詳細画面に遷移し、該当の人物が選任されているかを確認する必要がある。			
				●	STEP8	4-210	■エネルギー管理関係者の選任時のエラー表示の改善 ・エネルギー管理関係者の選任において、他の工場等での選任がそのままになっているために選任エラーになる場合がある(事業者が前の工場等の解任届を出していない場合、又は、管区をまたぐ場合に解任届は出しているものの他局の処理が間に合っていない場合、等)。 ・どの事業者・工場のエネルギー管理関係者との関係でエラーになっているのか、省庁側で分かるようにする。																	
				○	○	○	○	○		○														
				●	STEP8	4-133	■出力形式の変更 ・報告書を出す際のファイル形式について、ExcelとPDFのみとし、CSVとXMLは選択できないようにする。																	
				●	STEP8	4-134	■出力Excelファイルにおける電話番号のハイフンの許容 ・報告書のExcel出力時に「-」を入力していない場合は「VALUE」と表示されてしまうが、電話番号がそのまま表示されるようにする。																	
				●	STEP8	4-135	■検証画面における住所の記号化除外 ・EEGS検証画面や検証画面からダウンロードしたファイルにおいて、住所欄は記号化せずにそのまま表示する。																	
				●	STEP8	4-139	■CSVファイルにおける表記の統一 ・CSVファイルにおいて、数字の全角と半角が混在しているため、統一する。(例:「第2表」と「第2表」)																	
				●	STEP8	4-211	■報告書出力の不具合解消 ・報告書(届出書等)提出状況検索画面で提出された報告書を検索してもCSVファイルに出力されず、日を置いて再度検索すると出力される場合がある。原因を特定した上で、必要に応じて抽出条件を見直す。																	
				○	○					○														
				●	STEP8	4-199	■ファイル出力フォーマットの見直し ・工場・荷主の定期報告書・中長期計画書について、データ分析の過去からの継続性を確保するため、旧省エネ法システムと同様のファイルフォーマットでデータを出力できるようにする。(旧省エネ法システム運用時より後に様式に追加された項目については別ファイルにて出力。)																	
				●	STEP8	4-214	■中長期計画書の出力データの追加 ・各事業者が中長期計画書の免除事業者か否か、また、指定取り消しされたか否かの情報をファイルで出力できるようにする。 ・EEGSから中長期計画書データを出力する際、現在は免除事業者のデータは出力されないが、免除事業者に係る最終提出年度の中長期計画書の情報もあわせて出力できるようにする。																	
				●	STEP8	4-215	■(工場・荷主)出力ファイルの項目追加 ・「省エネ法定定期報告書・中長期計画書(工場等・荷主)データエクスポート」画面で出力されるファイルに「所管局」の欄を追加する。																	
				○	STEP8	4-200	■XML構造定義書における年度データの並び順の修正 ・省エネ法工場のXML構造定義書におけるデータの並び順について、年度が古い方から並んでいる項目と新しい方から並んでいる項目があり集計分析時に間違えやすいため、前者に統一する。 ・具体的には「特定表」の「特4表3-1 非化石比率」(項番1870～1876)、「特定4表3-2 非化石定量目標」(項番1886～1892)を修正する。 ・また、出力時のデータラベルも「年度1」「年度2」等ではなく、その新旧が直感的に分かる表記に修正する。																	
				●	STEP8	4-140	■CSVファイルにおける項目名称の修正 ・CSVファイルにおいて、特定表と指定表で名称が異なる項目があるため、名称を統一する。(例:「重油A」と「A重油」)																	
				●	STEP8	4-216	■(工場)非化石転換に係る出力改善 ・中長期計画書で非化石転換の「計画内容に変更なし」にチェックがついている場合、出力ファイルにおいてⅣ以降の内容を空白にするのではなく、直近年度の計画書の内容を転記する。																	
				●	STEP8	4-217	■(工場)出力ファイルにおけるベンチマーク指標設定有無区分に係る情報追加 ・工場定期報告書出力ファイルにおけるベンチマーク指標設定有無区分に関して設定行数を表示する。	現状、省エネ法定定期報告書・中長期計画書(工場等・荷主)データエクスポートによる出力ファイルの特定表のAV7列には、第8表 ベンチマーク指標設定有無区分(設定なし:0、設定あり:1)が出力されているが、これを、事業者のベンチマークが設定されている数(行数)に変更する。																
				●	STEP8	4-218	■(工場)特定第8表の入力有無の出力 ・出力ファイル「1.01_定期報告書_様式第9_特定表(特定事業者).csv」に、特定第8表の入力の有無を出力する。(入力がある場合は「1」を表示するなど)																	
				●	STEP8	4-219	■(工場)定期報告書に係る出力項目の選択 ・【外部連携】データ出力>省エネ法定定期報告書・中長期計画書(工場等・荷主)データエクスポート」からデータを出力する際、出力内容を選択できるようにする。 ・(例)エネルギー使用量、他者に供給するために使用した燃料の使用量、副生エネルギーの量、連携分を除いたエネルギー使用量、連携分のエネルギー使用量 ・また、特定/認定/指定第2表が1つのファイルで出力できるよう、出力フォーマットを見直す。																	
				●	STEP8	4-220	■(工場)指定表ファイル名称の改善 ・指定表ダウンロード時のファイル名に工場名を表示する。(データ保管のためにファイルを開いて内容を確認し、リネームしなければならないため)																	
				○	○	○				○														
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○																						
○	○	○		</																				

大分類	中分類	小分類	機能名	制度				ユーザ		要件類型				開発 ステップ	要件 No	要件	関連項目	要件備考									
				省エネ・工場	省エネ・荷主	省エネ・輸送	温対法	フロン法	事業者	省庁	一般	法令改正対応・制	持対イキ・ユリ盤						不具合対応	報告精度向上	とザ・利の・運	の事⑥工省用満業④数序効足省③削減①化	高効率化・特長				
公表・分析	【温対法】公表・分析	集計	集計	○	○	○	○			○										STEP5 STEP6 STEP8	6-014	■ 温対法集計ツール機能における処理担当省庁の自動判定、エラーチェック機能の改善 ・電子以外の方法で提出された報告書も含め、全ての報告書について、温対法集計ツールで温対法報告書の処理を行う省庁（＝筆頭省庁）は、以下のルールで自動決定する。 ***** ①報告書内の「主たる事業」（4桁コード）から所管省庁が一意に決定できる場合は、その省庁とする。 ②主たる事業が「都道府県機関」「市町村機関」の場合は、以下の通りとする。 ―都道府県機関・市町村機関のうち「教育委員会」（名称で判定）―文部科学省 ―都道府県機関・市町村機関のうち「都道府県警察本部」（名称で判定）―警察庁 ―上記以外の都道府県機関・市町村機関―環境省 ③それ以外は、「主たる事業の所管省庁」として報告された省庁とする。複数ある場合は先頭に記載された省庁とする。 ④同一事業者の省エネ法様式と温対法様式で、①～③で判定した筆頭省庁が異なる場合は、省エネ法様式に基づき省庁で統一する。 ※省エネ法様式で統一するのは、EEGSの処理省庁とツールの処理省庁が重複する事業者数をできるだけ減らすため。 ⑤電子以外の方法で提出された報告書で、筆頭省庁が国土交通省の場合は、可能な限り業種情報をもとに「地方運輸局」と「地方整備局」のいずれかを自動判定する。 ***** ・省エネ法様式（工場）と温対法様式の突合せが必要なエラーチェックについて、チェックの結果を分かりやすく表示する。	3-347 3-450	・市町村機関（9821）で、廃棄物処理と他の事務をあわせて実施している機関について、地方環境事務所の「資源循環課」「環境対策課」のどちらに提出するのが適切か、基準を明確にする必要がある。 ・温対法報告書の票読ルート（業種単位ではなく、個別事業者ごとに対応関係を整理しているケースも含む）との整合についても検討の上、最終的な方針を確定すること。			
																				STEP6 STEP8	6-016	■ 温対法集計ツールにおける表示情報の通知 ・温対法集計ツールにおいて、各事業者における担当者のメールアドレス、筆頭省庁の部署・課室の情報を表示する。					
																				STEP6 STEP8	6-017	■ 温対法集計ツールのエラー・アラート表示の改善 ・温対法集計ツールのエラー・アラート表示について、どの様式のどの項目に関するエラー・アラートなのかをメッセージ内で明示する。 ・温対法集計ツールの検索結果の「チェック状況」欄において、「アラートあり」については重大性に応じて区分した結果を表示する。					
																				STEP8	6-023	■ 温対法集計ツールにおけるエラー解消方法に関する情報提供 ・エラーの解消方法が分かるように、よくあるエラーと対処方法に関する情報を提供する。					
																				STEP6 STEP8	6-018	■ 修正理由の入力、理由書の添付 ・温対法集計ツール上で排出量等の情報を修正した場合は、修正理由や経緯、事業者から提供された情報等を入力できるようにする。 また、事業者からの説明資料（修正理由書）を添付できるようにする。		・任意とすることをかは検討が必要。			
																				STEP6 STEP8	6-019	■ 温対法集計ツールにおける処理速度改善 ・現在、温対法集計ツールに複数事業者の一括チェック機能は存在しているが、10件程度を一括チェックしようすると、相当の時間を要したり、強制ログアウトしてしまったりする。そこで、数十件を一括チェックした場合でも、短時間で処理完了できるようにする。 ・現在、温対法集計ツールで、事業所数が多い事業者については報告書詳細画面に遷移する際に相当の時間を要しているため、この画面遷移の時間を短縮する。	6-020	・1ボツ目については、要件6-0201によって「入力チェック」ボタンが廃止される場合には、要件自体不要となる。			
																				STEP6 STEP8	6-020	■ 温対法集計ツールにおける自動通知 ・「入力チェック」ボタンを押さなくても、エラー・警告の有無をシステムで自動検知・表示するとともに、エラー・警告が出ていない報告書は事業所管省庁から制度所管省庁への通知操作を不要とする。（事業所管省庁ユーザによる「入力チェック」「通知」操作を不要とする）	6-019				
				【省エネ法輸送】集計	集計・出力			○				○									STEP8	6-021	■ 認定管理統括貨客輸送事業者・連携非特定輸送事業者の報告書の出力・集計 ・認定管理統括貨客輸送事業者、連携非特定輸送事業者（貨物・旅客）を対象に、出力・集計機能を追加する。 ―出力：EEGSに取り込まれたデータを、様式と同様の配置でExcelに出力する。 ―集計：1行1事業者とし、全事業者の情報を取りまとめたExcel表を出力する。				
				【フロン法】集計	集計項目の選択																						
				【フロン法】報告書データの出力	集計結果の表示																						
			集計結果の出力																								
			出力データの選択																								
			報告書データの出力																								
			フロン法SHK報告書作成用データの一括抽出																								
			公表・分析	【温対法】公表・分析	報告された排出量情報等の公表				○				○					●	STEP6 STEP8	7-016	■ 温対法公表画面における輸送区分ごとの排出量表示 ・温対法公表画面について、複数の輸送区分がある事業者の場合、輸送区分ごとに表示・出力できるようにする。（現行システムは、事業者全体の合計値しか表示・出力されない。）						
																			●	STEP8	7-020	■ 温対法公表画面の機能改善 ・公表画面について、任意報告の項目で絞って検索できるようにする。 ・公表画面について、Excelファイルをダウンロードしなくても検索結果の表示画面において、ガス種ごとに並べ替えられるようにする。					
																				●	STEP8	7-021	■ 所在地情報の表記揺れの解消 ・温対法公表データを作成する際、事業者情報・事業所情報の表記ゆれ（旧字・異体字・誤記等）により、適切に地域とマッピングすることができない問題がある。そこで、温対法集計ツールでのチェック時に修正を促す等により、温対法事務処理フローにおいて適切な表記への修正を促す。				
																				●	STEP8	7-026	■ 公表サイト掲載事項の追加 ・R9年度報告からの温対法様式・様式変更に対応し、【様式第1】第5表9-10（森林等蓄積変化量）、【様式第2】5(4)（吸収量関係）、【様式第2】GXFCコミットメントへの取組、等、新設する報告事項を、サイト上の特定事業所排出者情報、集計結果データファイル等に出す。		・報告に間に合わせるため2027年6月頃のリリースを想定		
																				●	STEP8	7-027	■ 公表サイトの事業者・事業所検索機能の改善 ①【高】検索画面に、様式2の有無を選択するラジオボタン追加。【様式2あり】を選択すると、様式2を報告している事業者一覧が表示されるようになる。 ②【中】検索画面に、様式2の大項目（1～8）を選択するラジオボタンを追加。項目を選択すると様式2の該当項目を報告している事業者一覧が表示されるようにする ③【低】様式2に記載した取組内容のキーワード検索ができるようにする ④【中】検索画面に、国内認証排出削減量等の報告の有無を選択するラジオボタン追加。【あり】を選択すると、国内認証排出削減量等を報告している事業者一覧が表示されるようにする ⑤【中】年度指定をせずに事業者名を入れるだけで検索できるようにする。 ⑥【低】「よみがな」で検索できるようにする。／事業者名に空白が入っている場合、空白なしでも検索できるようにする。／事業者名に「.」が入っている場合、「.」が入りでも検索できるようにする。 ⑦【低】記載などでCISNコードの説明を記載する ⑧【低】検索結果一覧の「業種」を「主たる事業（中分類）」に修正する ⑨【中】特定排出者コード順や事業者名順など、各項目でソートできるようにする		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-028-01	■ 公表サイトの「特定事業所排出者情報」画面の改善 ①【低】温室効果ガスごとの積み上げグラフとする ②【中】フルダウンで温室効果ガスの種類が選択できることをわかりやすく記載する		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-028-02	■ 公表サイトの「特定事業所情報」画面の改善 ①【低】所在地市町村まで記載する ②【中】報告年度が少ない場合に、棒グラフを太くしない(5年分ぐらいの太さとして、報告がない年度は報告なし表示する等)		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-028-03	■ 公表サイトの「特定輸送事業者」画面の改善 ①【低】特定事業所排出者情報画面に飛べるようにする		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-028-04	■ 公表サイトの「温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報その他の情報」セクションの改善 ①【中】記載ありの欄だけ表示するか、詳細データとして折りたたむ ②【中】記載ありの欄だけ表示するか、記載なしの欄はグレー表示とする ③【低】【全て詳細URL】に関する注意事項であることを前提に「【詳細URL】に関する注意事項」に変わる		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-029-01	■ 公表サイトの集計画面（特定排出者別排出量）の改善 ①【高】掲載先へのリンクの年度を修正 ②【低】業種の選択をすすと選択した業種の年次変化が表示されるようにする ③【低】棒グラフに割合を表示、または各年度の円グラフを表示する ④【中】文字を大きくする ⑤【中】文字の大きさを調整する		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-029-02	■ 公表サイトの集計画面（特定排出者（荷主を除く）のガス種別排出量）の改善 ①【低】選択窓がわかりやすいようフルダウンを大きくする ②【低】選択した業種の年次変化が見られるようにする		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-029-03	■ 公表サイトの集計画面（特定事業所排出者の業種別排出量）の改善 ①【低】2020以前の排出量も表示する ②【低】2023年度の円グラフ、2023年度の棒グラフ、2019～2023年度の棒グラフの順に変わる ③【低】中分類の番号を各項目の冒頭に追記する		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-029-04	■ 公表サイトの集計画面（特定事業所の所在地別排出量）の改善 ＜都道府県別＞ ①【低】棒グラフに割合を表示、または各年度の円グラフを表示する ②【低】見やすい色に修正する ③【中】グラフと同様に日本地図のタイトルを記載する ＜市区町村別＞ ④【低】棒グラフに割合を表示、または各年度の円グラフを表示する		【】は優先度（高＞中＞低）		
																				●	STEP8	7-030	■ 公表サイトにおける特定排出者別排出量ダウンロードファイルの改善 ①【高】開示データと同様のデータをダウンロードできる場所がわかりづらいため、マニュアルまたはガイドを掲載する ②【中】所在地データには都道府県を入れないように入力画面を修正する ③【中】Read meにファイルの項目名の説明を入れる ④【高】「11_tokutei_jigyosho_haishutsushe_data.csv」「12_tokutei_yusyo_jigyosha_data.csv」「13_tokutei_jigyosha_data.csv」にその他の情報を掲載する。難しい場合はその他の情報の有無のみでも掲載する ⑤【低】EEGSダウンロードファイルに特定事業所の報告する事業者数を追加する ⑥【低】特定排出者の区分、ガス種別集計用するためのデータをDLデータに追加 ⑦【低】H18～H19の集計値を参考値としてDLデータに追加 ⑧【低】公表資料と同様の集計結果を「集計済CSV」として併せて公開		【】は優先度（高＞中＞低）		
							【省エネ法】任意開示	報告された漏えい量情報等の公表												●	STEP8	7-022	■ SHK対象外事業者の自主報告促進に向けた機能改善 ・SHK非対象事業者も、ファイルをアップロードして登録・公表できるようにする。 ・GXリーグの任意報告内容を取り込んで公表できるようにする。（GXリーグの報告書をCSVに出力し、EEGS公表画面に取り込む想定）				
																				●	STEP8	7-023	■ 任意算定時の調整後排出量の算定・公表 ・任意算定時にも、クレジットや非化石証書を考慮した調整後排出量を算定・公表できるようにする。				
																					●	STEP8	7-024	■ 任意算定時の入力内容の保存・出力 ・任意算定時に入力した内容についてもEEGSのDB内で管理するか、入力内容を次年度に活用できるようファイル出力できるようにする			
																					●	STEP8	7-031	■ 排出量任意算定機能の集約・改善 ・EEGSのCO2排出量任意算定機能の認知度を高めるため、Google等で検索したときにヒットしやすくとともに、動線や画面デザインの工夫、任意算定機能・公表機能・説明動画・操作ガイド等のコンテンツの集約表示等を行う。			
																					●	STEP8	7-032	■ 公表サイトにおける自主的公表値に係る画面の改善 ＜検索画面＞ ①【中】事業者名順など、各項目でソートできるようにする ＜個別事業者画面＞ ②【高】報告年度が排出年度かを記載する		【】は優先度（高＞中＞低）	
【フロン法】公表	集計	報告された漏えい量情報等の公表															●	STEP5 STEP6 STEP8	7-013	■ 出力する表・グラフの追加 ・フロン法報告結果の公表画面で表示・出力する表・グラフに、以下を追加する。 ―算定漏えい量及び報告数 ―算定漏えい量の規模別割合及び累計報告回数 ―新規に報告対象となる、又は報告対象から外れる特定漏えい者数 ―充填回収量報告データに対する特定漏えい者の実漏えい量 ―漏えい量全体に占める特定事業所からの漏えい量の割合 ―業種別特定漏えい者数及び算定・実漏えい量 ―業種別特定事業所数及び算定・実漏えい量 ―冷媒区分別特定漏えい者の算定漏えい量の経年変化 ―冷媒区分別充填回収量報告及び特定漏えい者・特定事業所の実漏えい量 ―冷媒別特定漏えい者の漏えい量の経年変化 ―冷媒別特定事業所の漏えい量の経年変化 ―主要業種別・平均GWP経年変化 ―都道府県別算定漏えい量の変化							
																						STEP8	7-033	■ フロン法公表ウェブサイトにおける項目追加 ・開示請求の廃止に向けて、フロン法報告結果の公表ウェブサイトにて、以下の項目を追加する。 ―主たる事業・中分類、小分類、細分類（追加（大分類は既にあり）） ―所在地：都道府県、市区町村（を）追加			
																							STEP8	7-034	■ 工場開示制度向けファイル出力 ・工場開示制度のBITツール（Microsoft Power BIで構築済）に取り込むためのファイルをダウンロードできるようにする。		
							○						○						●	STEP8	7-035	■ 省エネ法工場の開示宣言入力画面の改善 ・開示項目「取組の概要①」は、業種によって入力・出力フォーマットを変える必要がある。2026年度中に業界団体から要望があった場合は、当該業種に係る入力画面の改善を行う。 ・その他、選択開示項目の変更、定性情報の記入欄、記入文字数の変更等がある場合には、それに対応した入力画面の改善を行う。		2027年3月末までに確定した要件をもとに4月から改修を開始し、8月末にリリースする。			
EEGSに係る各種情報の公開	EEGSポータルサイトの構築	報告された情報の公表															●	STEP8	7-036	■ 開示画面イメージの表示 ・現在の開示制度の運用では、速報版と確報版の公表前に各事業者へ公開予定のBITツールの画面イメージをPDF化して送付している。その作業が非常に煩雑であるため、事業者がEEGSにログインすることで公表予定の開示シートを確認できるようにする。							
							○						○								STEP8	7-037	■ 荷主の任意開示制度への対応 ・荷主制度における任意開示制度の導入に向けて、開示宣言登録機能、開示項目選択機能、開示情報の登録・出力機能を設ける。		工場と同様の制度設計を検討中。		
							○	○	○	○	○	○						●	STEP5 STEP6 STEP8	2-044 7-019	■ EEGSポータルサイトからEEGSへの誘導の改善 ・EEGSポータルサイトの冒頭に、EEGSのアクセスキー入力画面・ログイン画面へのリンクを設置する。						
その他	【省エネ法】任意開示	報告された情報の公表					○	○	○	○	○	○					●	STEP8	7-038	■ AIによる対策アドバイス機能 ・報告結果に基づき、AIが今後とるべき対策のオプションを提案する機能を設ける。							